

14：00より開始となります。  
開始時間までお待ちください。

令和6年度  
文部科学省補助事業  
『「学校等欠席者・感染症情報システム」と  
校務支援システム連携事業に関する  
自治体向けオンライン説明会』

令和6年度  
文部科学省補助事業  
『「学校等欠席者・感染症情報システム」と  
校務支援システム連携事業に関する  
自治体向けオンライン説明会』

令和6年6月26日(水) 14:00 ~ 15:00

<アジェンダ>

- ① 説明会の趣旨説明 (14:00 ~ 14:05)
- ② 感染症情報システム及び連携事業の説明 (14:05 ~ 14:40)
- ③ 説明会アンケートのお願い (14:40 ~ 14:45)
- ④ 連携事業に関する問い合わせ先の案内 (14:45 ~ 14:50)

## 文部科学省補助事業 「学校等欠席者・感染症情報システム」と校務支援システム連携事業

本事業は、学校等欠席者・感染症情報システムと各自治体が運営している校務支援システムのデータを連携させることで、多忙を極める学校現場でのシステム入力の負担を減らし、業務効率化に資するとともに本システムの更なる拡充を図り、感染症のまん延防止と子どもの学習機会の損失を防ぐことを目的に令和3度、調査研究事業が実施され、今年度も継続して取り組んでいる事業です。

標記のオンライン説明会では、令和3度の実施自治体の取組事例、連携運用ネットワークや費用など、事業内容の説明とともに来年度予算確保に向けた説明会となります。

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

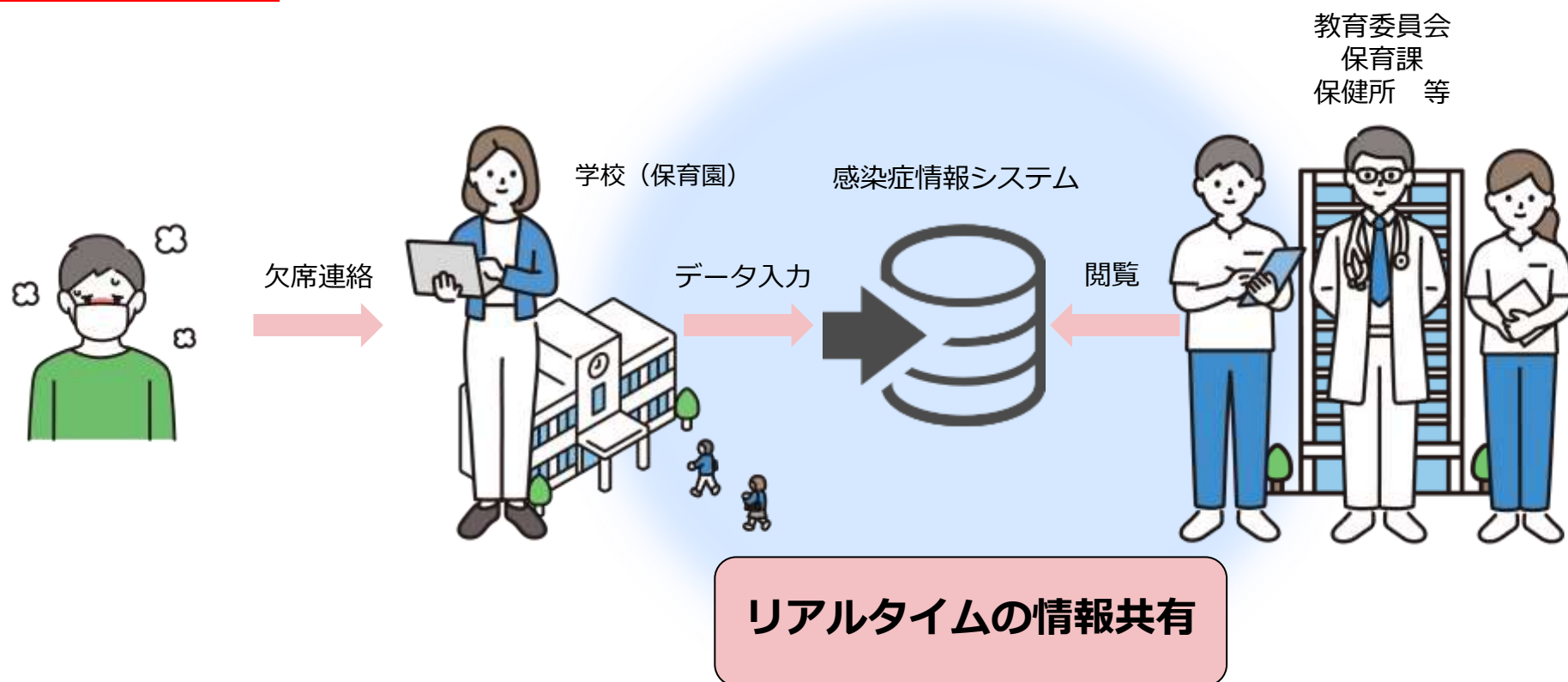
10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

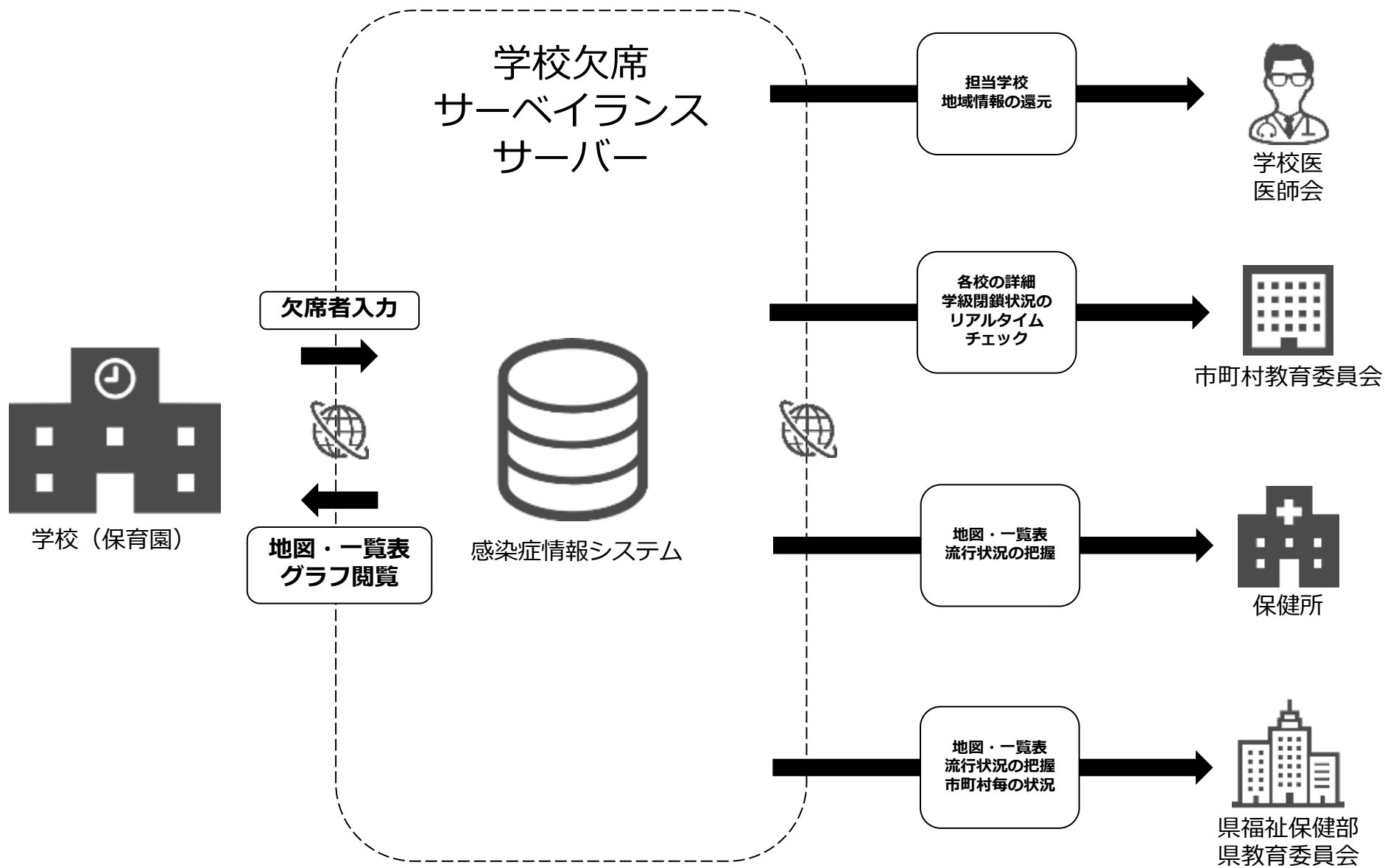
14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

# 子どもたちを感染症から守るリアルタイムサーベイランス

学校（保育園）において子供たちの欠席情報を毎日入力することで、地域の感染症の発生状況をリアルタイムに把握し、関係機関が情報を共有できるシステムで、**早期の感染症対策**に役立てることができます。

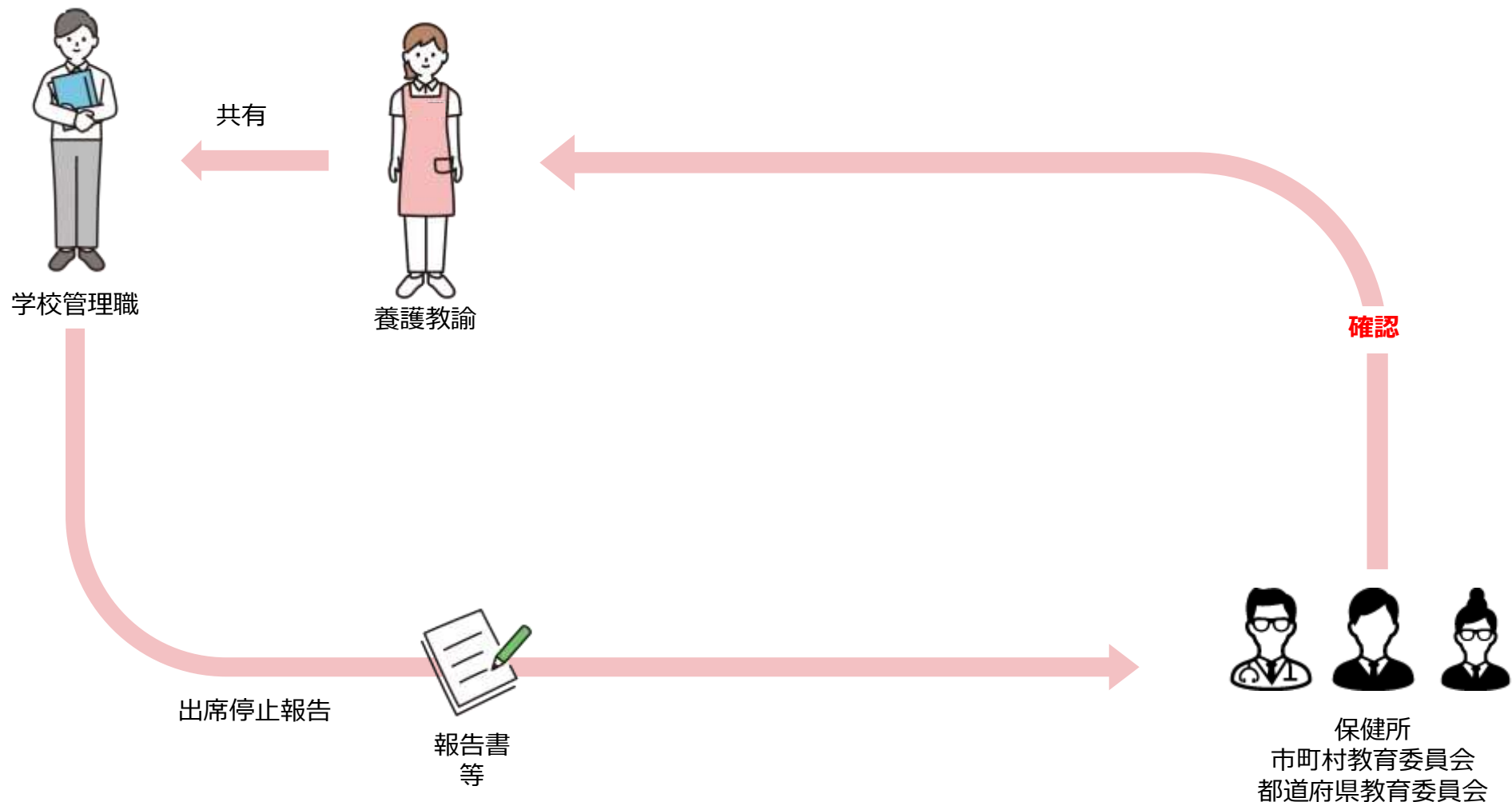


## 1-2. 感染症情報システムの概要



# 1-3.感染症情報システムの活用事例①

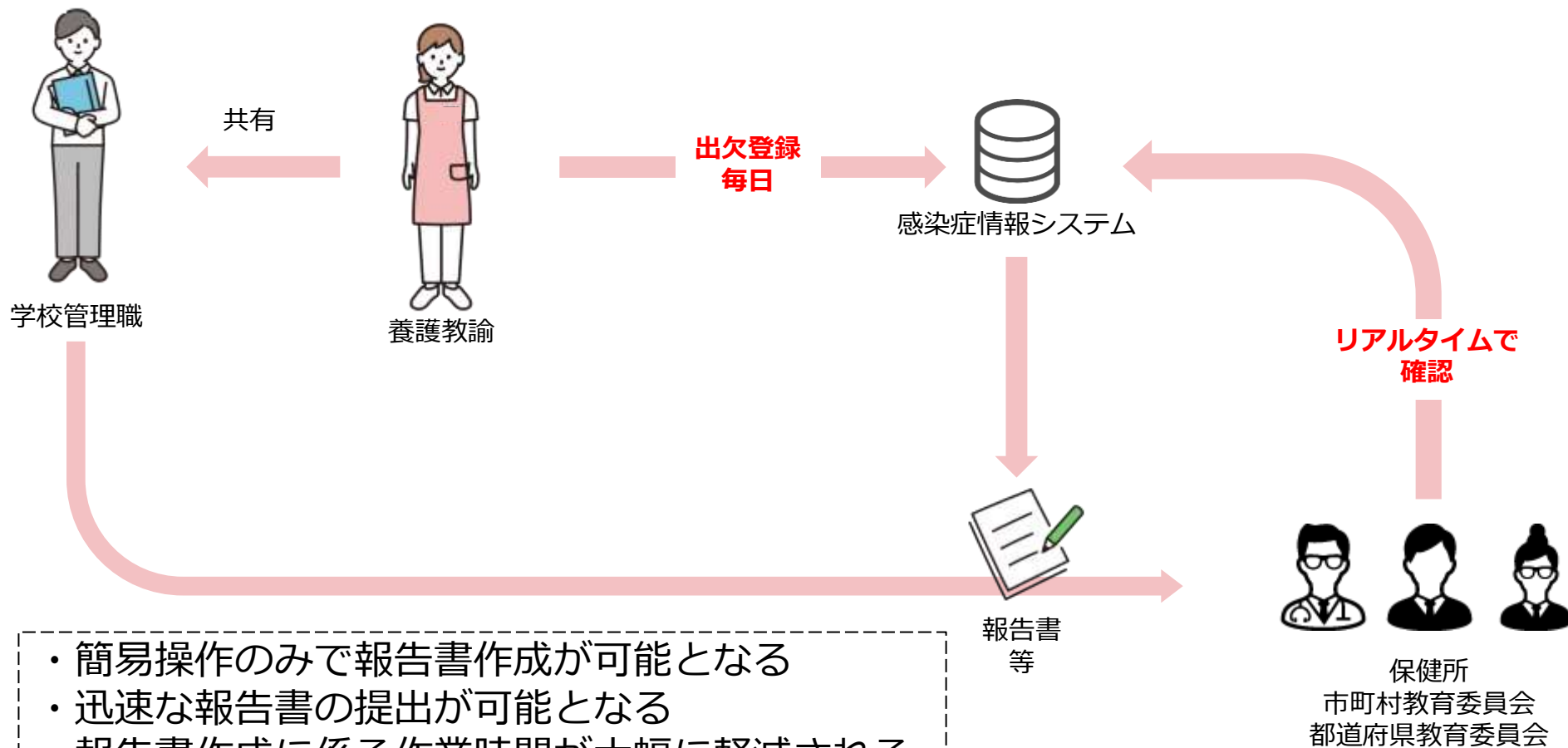
【感染症情報システム**導入前**】  
毎月紙ベースで報告書を作成し、教育委員会等に提出





# 1-3.感染症情報システムの活用事例①

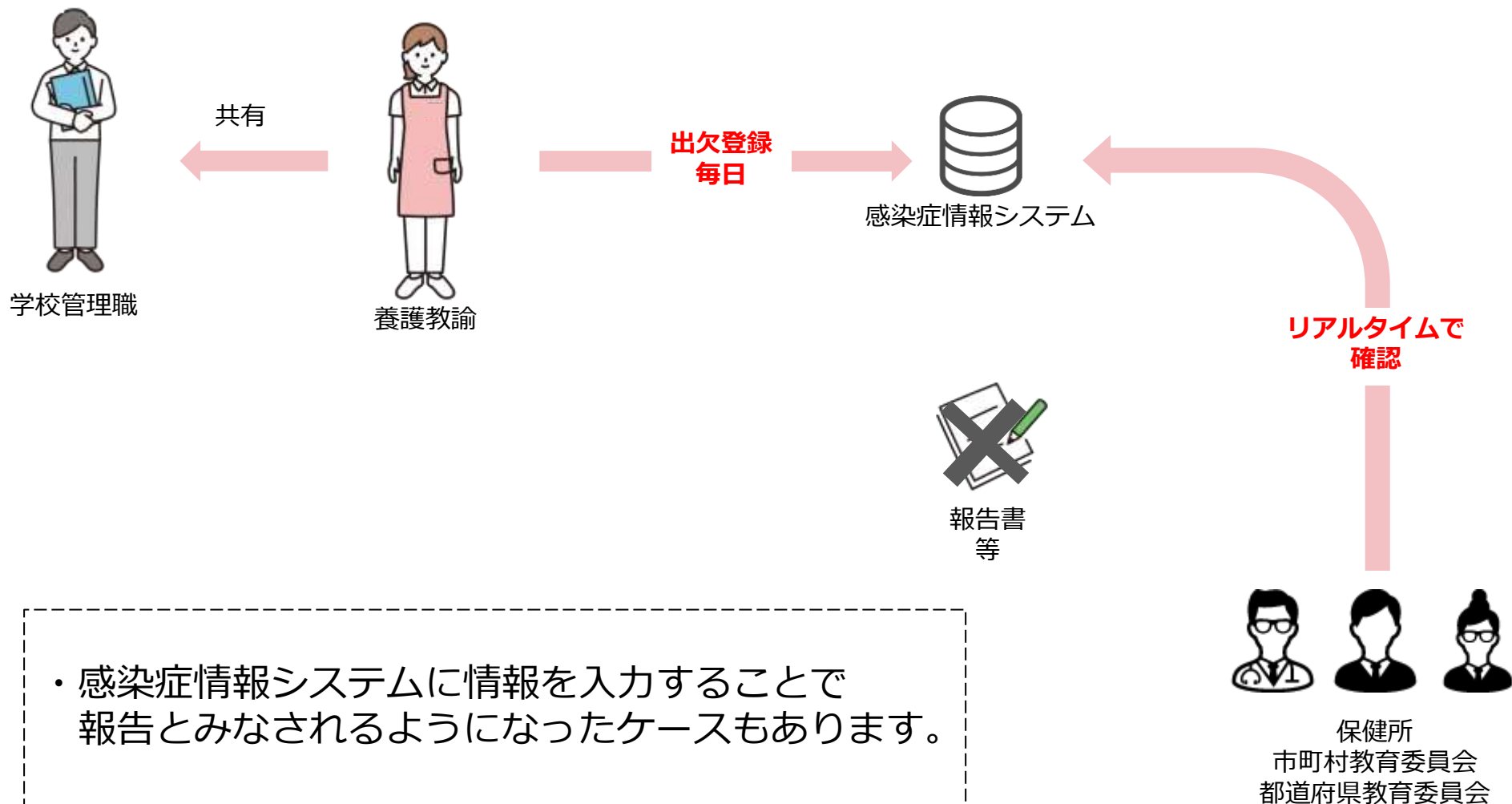
## 【感染症情報システム導入後】 感染症情報システムに入力することで、事務作業の軽減となる



- ・ 簡易操作のみで報告書作成が可能となる
- ・ 迅速な報告書の提出が可能となる
- ・ 報告書作成に係る作業時間が大幅に軽減される
- ・ 報告書の記載ミスが最小限に抑えられる

# 1-3.感染症情報システムの活用事例①

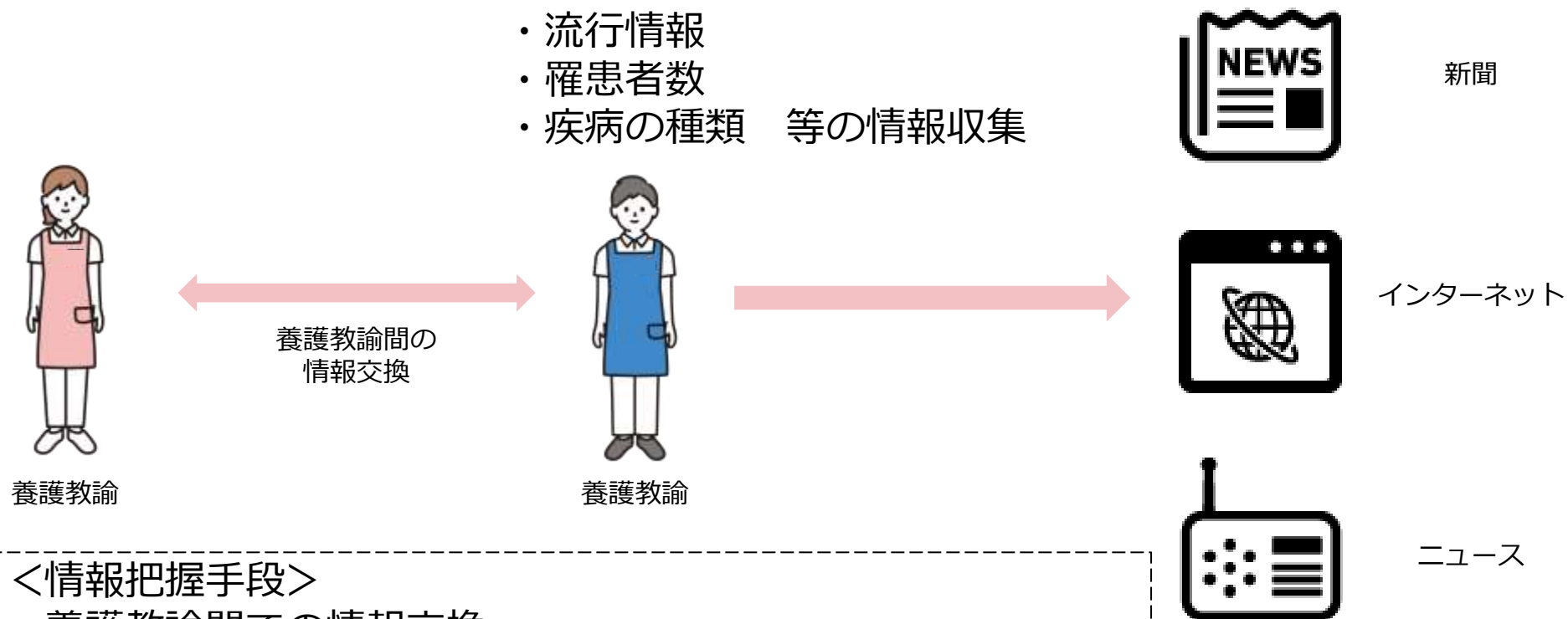
## 【感染症情報システム導入後】 感染症情報システムに入力することで、事務作業の軽減となる



## 1-3.感染症情報システムの活用事例②

### 【感染症情報システム導入前】

市内外、県内、全国の罹患者数等の情報把握はネット・新聞・ニュースなどで行っていた



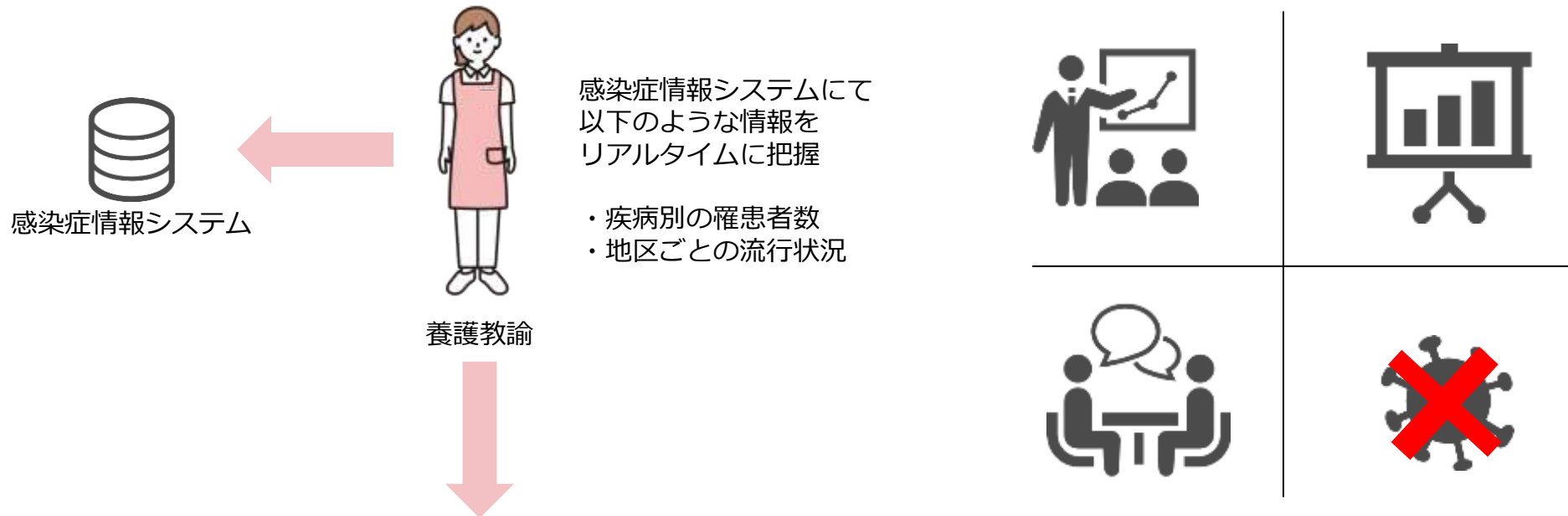
#### <情報把握手段>

- ・ 養護教諭間での情報交換
- ・ 市教育委員会からの情報提供
- ・ 新聞、ネット、ニュースからの情報

## 1-3.感染症情報システムの活用事例②

### 【感染症情報システム導入後】

感染症情報システムにて市内外、県内、全国の疾病別の罹患者数等がリアルタイムに把握できる

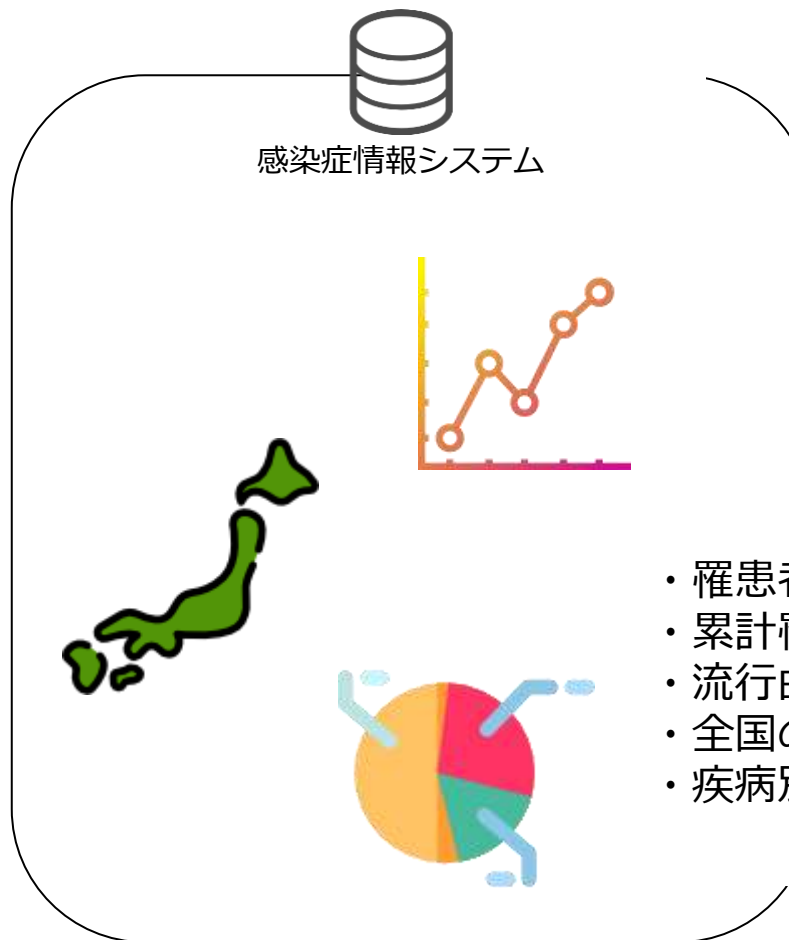
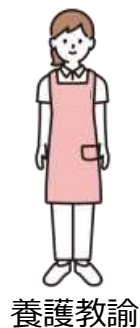
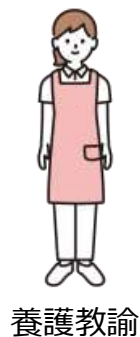


- ・ 校内の打ち合わせや会議で、**最新の情報を提供**する
- ・ 市内・県内の罹患者数を示して**資料を作成し、啓発**できる
- ・ 大会や練習試合などの前に、顧問に**流行状況を伝える**
- ・ 校内で**感染者が出る前に、感染対策**をとれる

## 1-3. 感染症情報システムの活用事例②

### 【感染症情報システム導入後】

感染症情報システムにて市内外、県内、全国の疾病別の罹患者数等がリアルタイムに把握できる



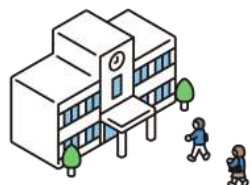
- ・罹患者推移のグラフ
- ・累計罹患者率グラフ
- ・流行曲線グラフ
- ・全国の感染症発生状況
- ・疾病別の罹患者数 等

# 1-3.感染症情報システムの活用事例③

【感染症情報システム導入前】  
学区内の感染状況を個別で収集し、集計していた



B学校



C学校



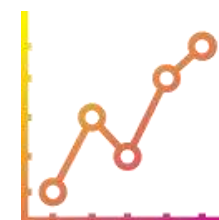
D学校



A学校  
養護教諭



報告書



集計表

手作製

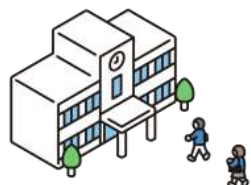
- ・ 報告様式を自作し、同一学区内の各学校へ毎日FAX送信
- ・ 報告書を返信してもらい、集計表を手作製し、学区内の各学校へ返信

# 1-3.感染症情報システムの活用事例③

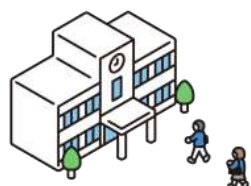
【感染症情報システム導入前】  
学区内の感染状況を個別で収集し、集計していた



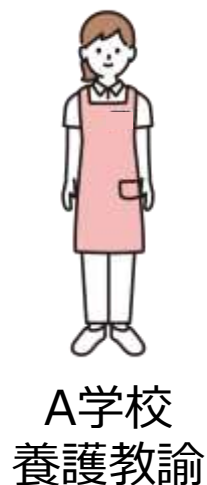
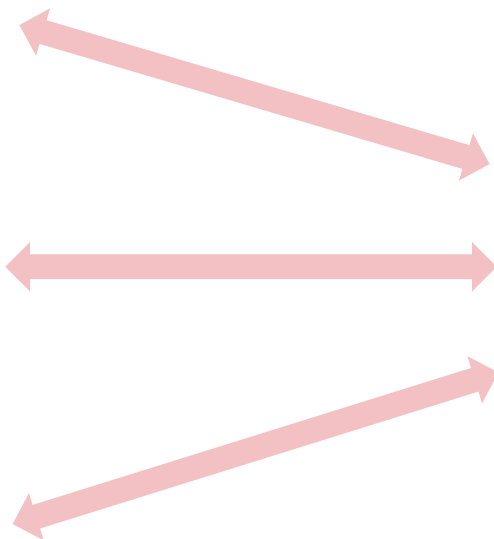
B学校



C学校



D学校



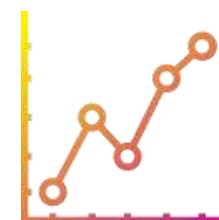
A学校  
養護教諭



手作製



報告書

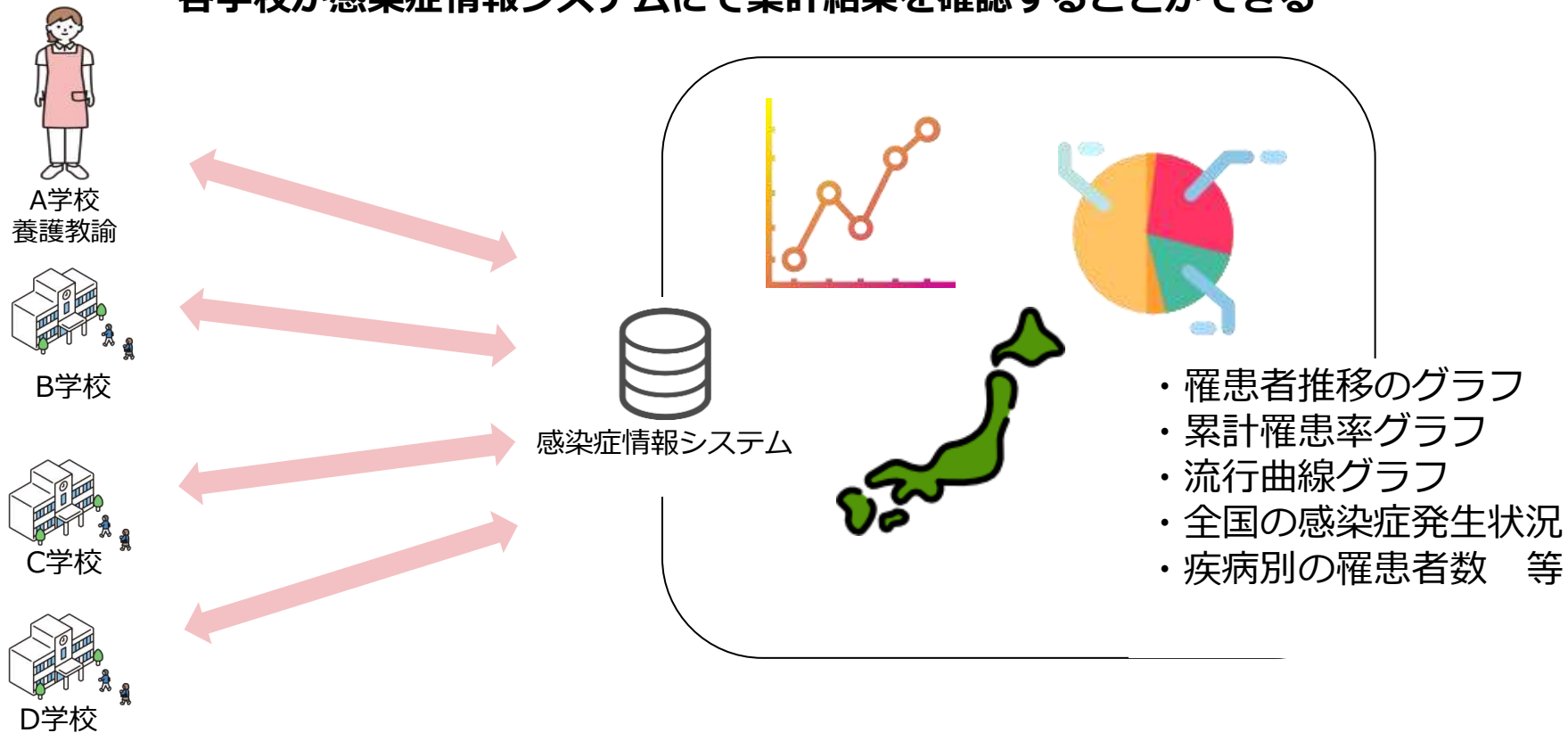


集計表

連絡・集計・グラフ作成の  
負担が大きい

## 【感染症情報システム導入後】

各学校が感染症情報システムにて集計結果を確認することができる

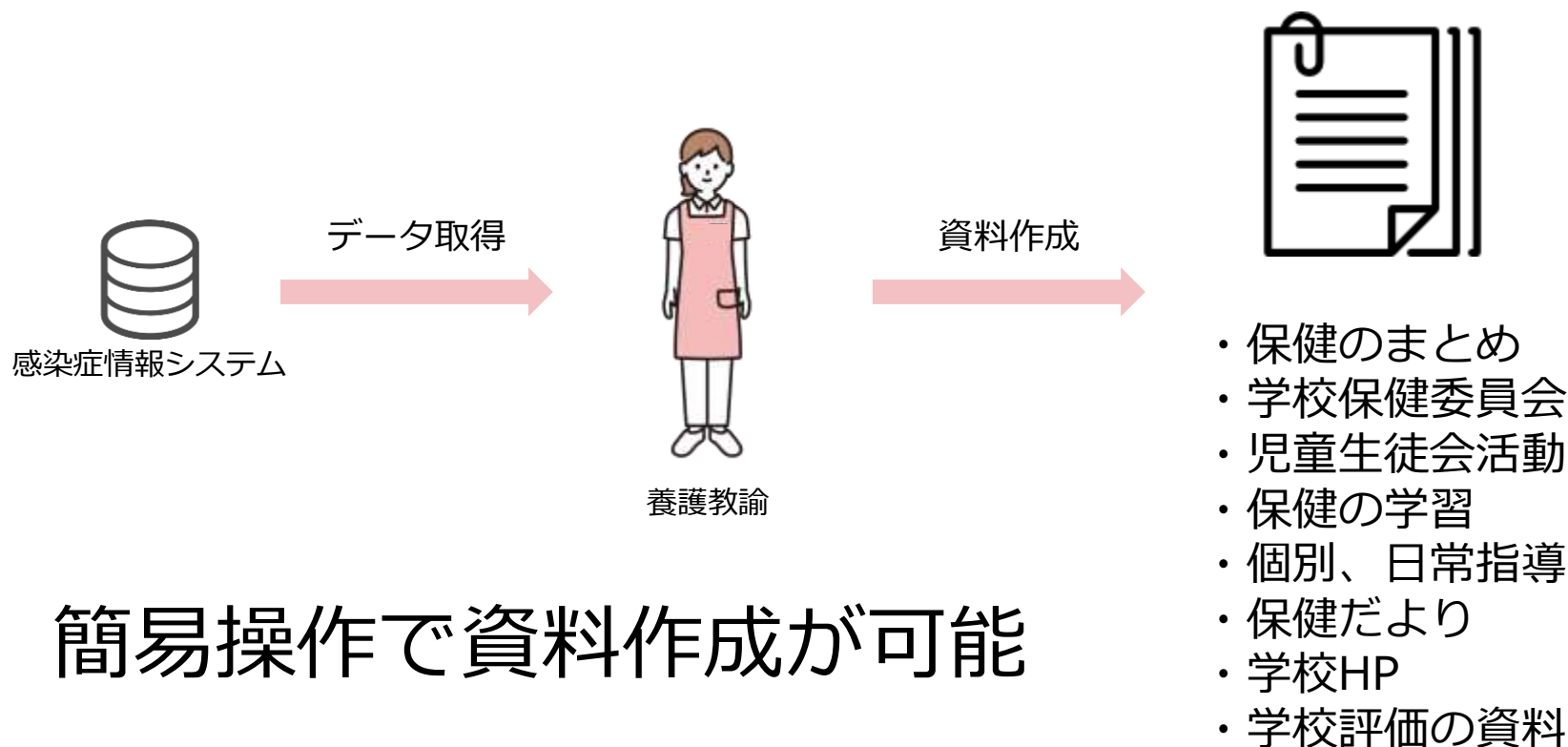


各学校がそれぞれ感染症情報システムを確認することで  
**連絡や集計作業が不要**となる



### 【感染症情報システム導入後】

感染症情報システムより取得したデータ（CSV）等を活用し、様々な資料に活用

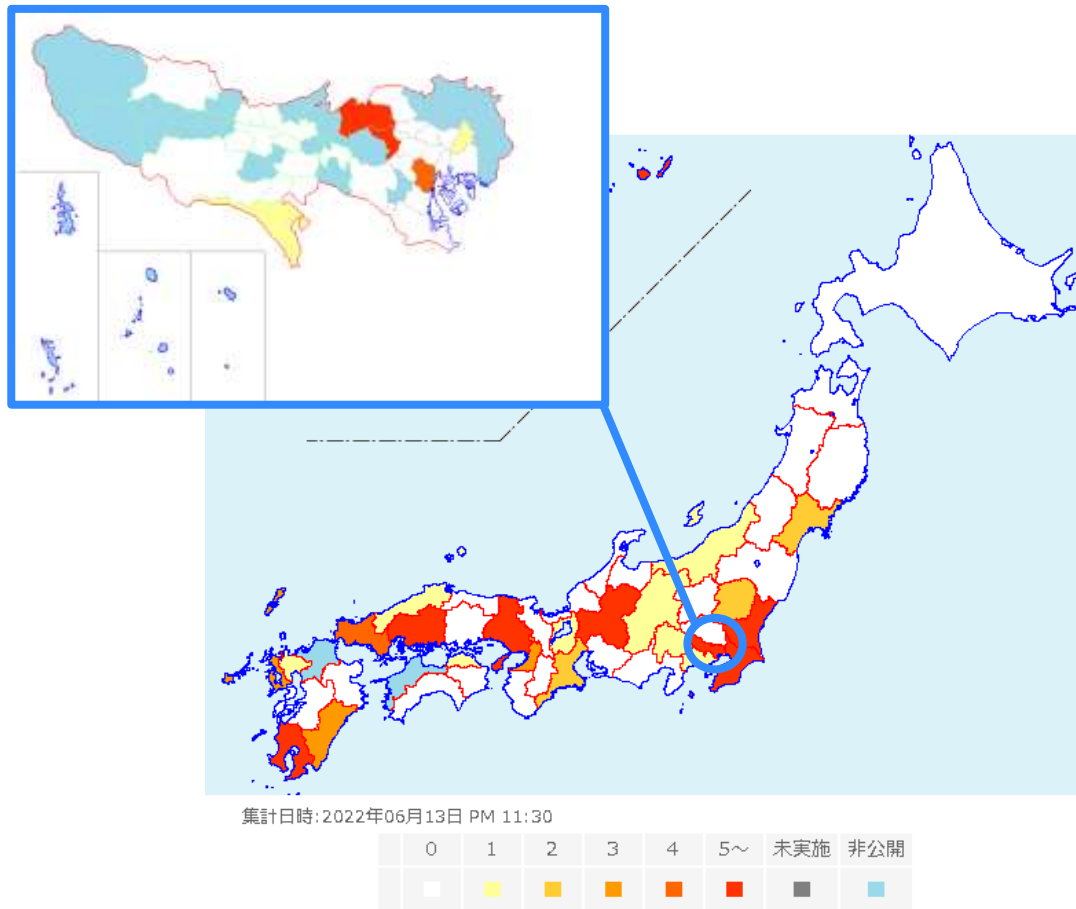


# 簡易操作で資料作成が可能

## 1-3.感染症情報システムの活用事例④

### 【感染症情報システム導入後】 市内外、県内、全国の感染状況を確認し、学区外での活動に活用

- 修学旅行先の感染症発生状況を確認
- 何がどの地区で流行しているか、リアルタイムに把握
- 大会や練習試合などの前に、顧問に流行状況を伝える
- 学校内で流行していなくても、近隣学区の状況を伝えることで、危機感をもって感染症対策が行える



## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
- 2. 感染症情報システムの登録及び利用方法**
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

## 2-1.感染症情報システムの利用について

### 【利用にあたって】

**感染症情報システムは無料で利用可能**です。施設の新規登録及び導入後の維持管理に要する経費は日本学校保健会が全額負担しています。

### 【利用環境】

本システムはインターネットを利用して、Webブラウザ上で動作します。

### 【利用方法】

感染症情報システムのさらに詳しい説明については、日本学校保健会ポータルサイトに掲載されている「学校等欠席者・感染症情報システム 操作マニュアル Ver3.00」をご参照ください。

- ・ 学校等欠席者・感染症情報システム 操作マニュアル

[https://www.gakkohoken.jp/system\\_information/system\\_demo](https://www.gakkohoken.jp/system_information/system_demo)

### 【新規導入申請】

「学校等欠席者・感染症情報システム」へ新規導入申込をされる自治体は、下記に表示してあります本件に関するお問い合わせ窓口（株式会社エスイーシー 東京 システムセンター）へメールをお送りいただきますと、手続きのご案内を返信いたします。

令和5年度につきましては、新規申込表は、委託業者の株式会社エスイーシー 東京 システムセンターにて学校コードを元に原案を作成しますので、自治体担当者の方は、内容の確認のみで申込を完了できます。

### 【お問い合わせ窓口】

株式会社エスイーシー 東京システムセンター 感染症情報システム 新規利用申請提出窓口  
system@hokenkai.or.jp

※上記窓口より、日本学校保健会へ情報共有されます

### 【必要書類】

新規導入申込に際して、下記2点が必要となります。

※なお、下記資料はお問い合わせいただいた際に、窓口より送付させていただきます。

- ・新規導入申込書
- ・登録予定施設一覧



### 【新規導入申込時の注意点】

感染症情報システムの導入について、現在は「都道府県担当者様」「市区町村担当者様」からのみ受け付けております。

学校の養護教諭様や、保育園の理事長様など施設の担当者様からの申請につきましては施設登録の実態を自治体様が把握することが困難となるため、管轄の自治体担当者様より申請いただくよう案内をしております。

管轄の施設に感染症情報システムの導入について、通知を発行される場合は「施設単位での申請は不可である」ことについてお伝え頂くようお願い致します。

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について



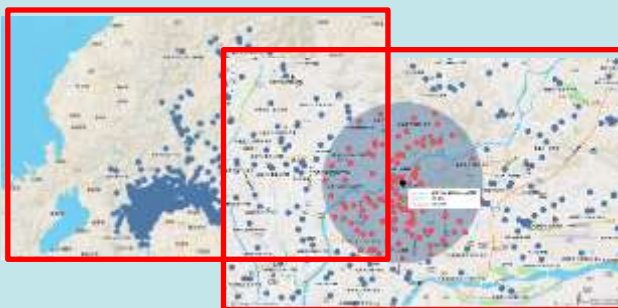
## 感染症情報システム マップビューについて

- ・ 学校等欠席者・感染症情報システムにて登録された感染症情報を新たにデータ分析ツールを利用して地図上に表示する機能をマップビューとして構築しました。
- ・ マップビューでは欠席者や感染症の発生状況を地図上にマッピングし、都道府県別、市区町村別、症状別など様々な観点で分析可能になっております。
- ・ 欠席者や感染症による出席停止人数、クラス数を、都道府県、市区町村、施設ごとの人数割合、クラス数割合で円グラフに表示し、感染状況などをより視覚的に捉えることが可能になっております。
- ・ 各学校から入力された感染症情報を2時間間隔で地図上に表示し、タイムリーな状況確認が可能になっております。

学校等欠席者・感染症情報システム



マップビュー



感染症データの新しいデータ表示機能として追加となりました。

利用者



## 3-2.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの閲覧方法）

### 感染症情報システム マップビューへのアクセス方法

公益財団法人 日本学校保健会HP (<https://www.hokenkai.or.jp/>) よりマップビューの確認が可能です。

1

2

欠席者情報や都道府県別など表示内容ごとにリンク先を表示します。

日本学校保健会HP内にマップビュー用のリンク先を表示します。

選択したマップビューが表示されます。

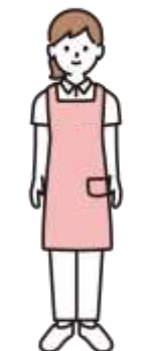
表示単位	地図表示、割合表示	家数表示、グラフ表示
都道府県別	欠席者数、欠席率	【自由設定】 【自由設定】
市区町村別	欠席者数、欠席率	【自由設定】 【自由設定】

表示単位	地図表示、割合表示	家数表示、グラフ表示
都道府県別	【自由設定】	【自由設定】
市区町村別	【自由設定】	【自由設定】

# 3-3. 感染症情報システムデータの活用例（マップビューのデータについて）

## マップビューへのデータ反映

感染症情報システムへ登録されたデータを基に、毎日8:00~18:00の間、2時間間隔でマップデータを最新化しておりリアルタイムで全国の感染状況等を確認することができます。



養護教諭



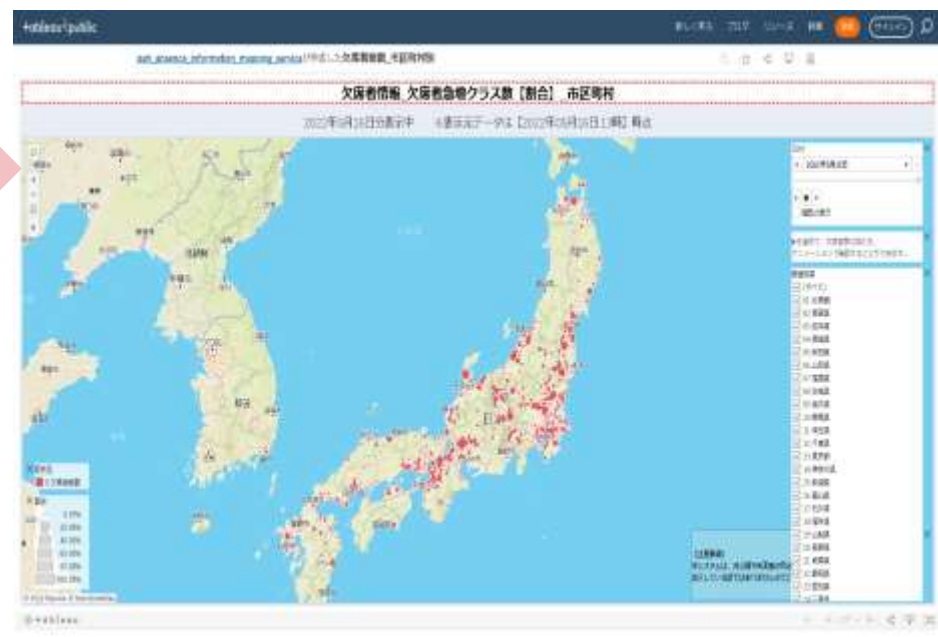
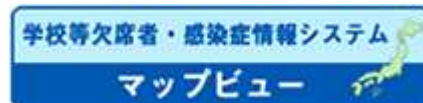
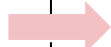
感染症情報システム



連携サーバー  
(日本学校保健会環境)



養護教諭



## マップビューの表示イメージ（都道府県）



# 3-4.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_都道府県）

## マップビューの表示イメージ（都道府県）

出席停止情報 新型コロナウイルス感染症【割合】 都道府県

2024年5月31日分表示中 ※表示元データは【2024年05月31日 11時】時点

**表示する日付が指定可能**

**表示対象年月日  
データ最終更新日時**

**表示対象の症状一覧  
チェックにて対象を  
絞ることが可能**

**円グラフにカーソルを合  
わせることで、円グラフ  
の詳細情報を表示**

**表示対象の都道府県一覧  
チェックにて対象を  
絞ることが可能**

出席停止人数【全国】	
2,345	
出席停止人数【都道府県】	
01:北海道	
02:青森県	39
03:岩手県	10
04:宮城県	51
05:秋田県	37
07:福島県	58
08:茨城県	87
09:栃木県	109
10:群馬県	60
11:埼玉県	16
12:千葉県	207
13:東京都	59
14:神奈川県	7
15:新潟県	83

日付: 2024年5月31日  
都道府県名: 東京都  
症状名: 1310:新型コロナウイルス感染症  
出席停止人数: 59  
合計人数: 264404  
10,000人あたりの出席停止人数: 2.23

表示地区:  
1:北海道 5:近畿  
2:東北 6:中国  
3:関東 7:四国  
4:中部 8:九州沖縄

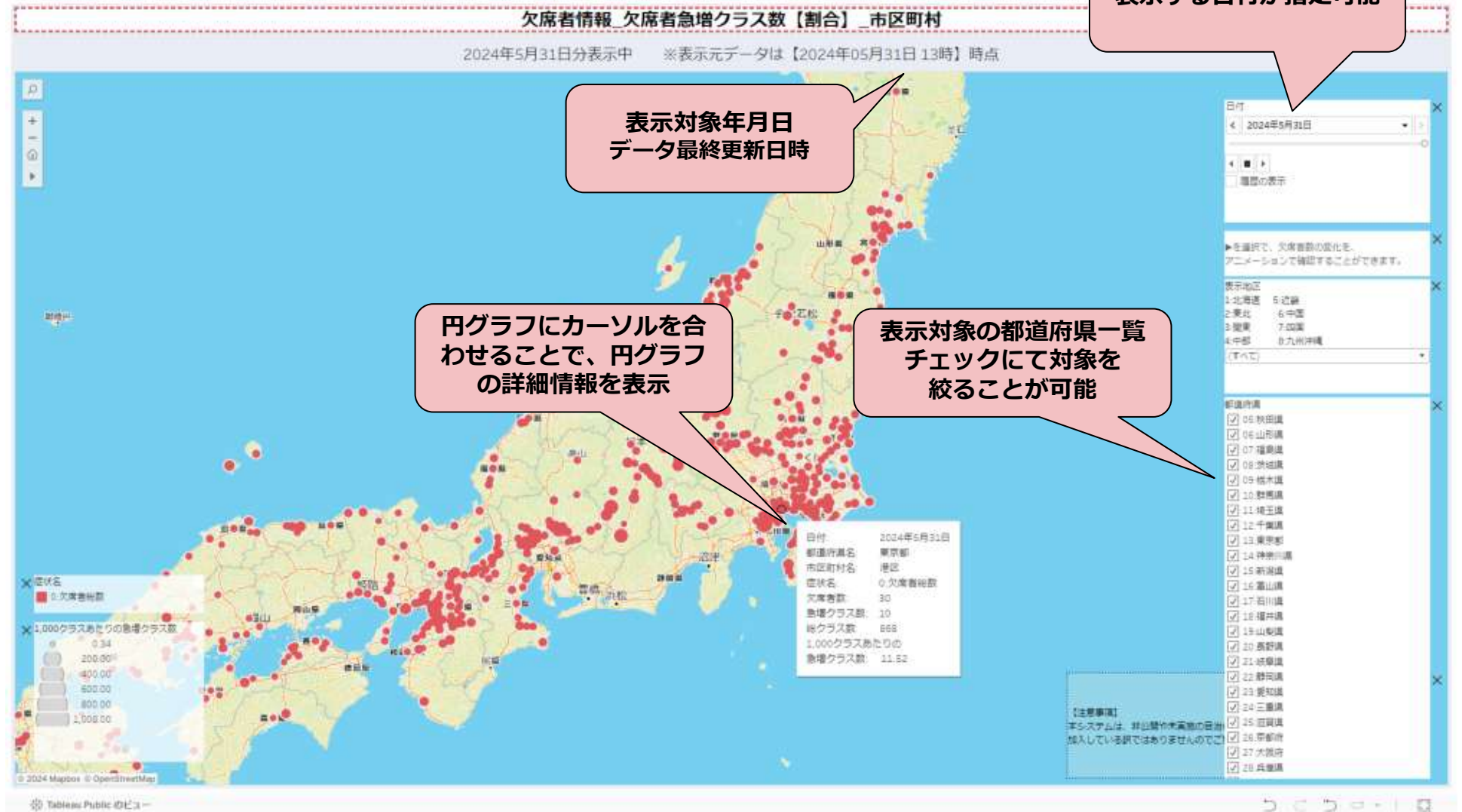
都道府県:  
 すべて  
 01:北海道  
 02:青森県  
 03:岩手県  
 04:宮城県  
 05:秋田県  
 07:福島県  
 08:茨城県  
 09:栃木県  
 10:群馬県  
 11:埼玉県  
 12:千葉県  
 13:東京都  
 14:神奈川県  
 15:新潟県  
 17:石川県

Tableau Public で表示

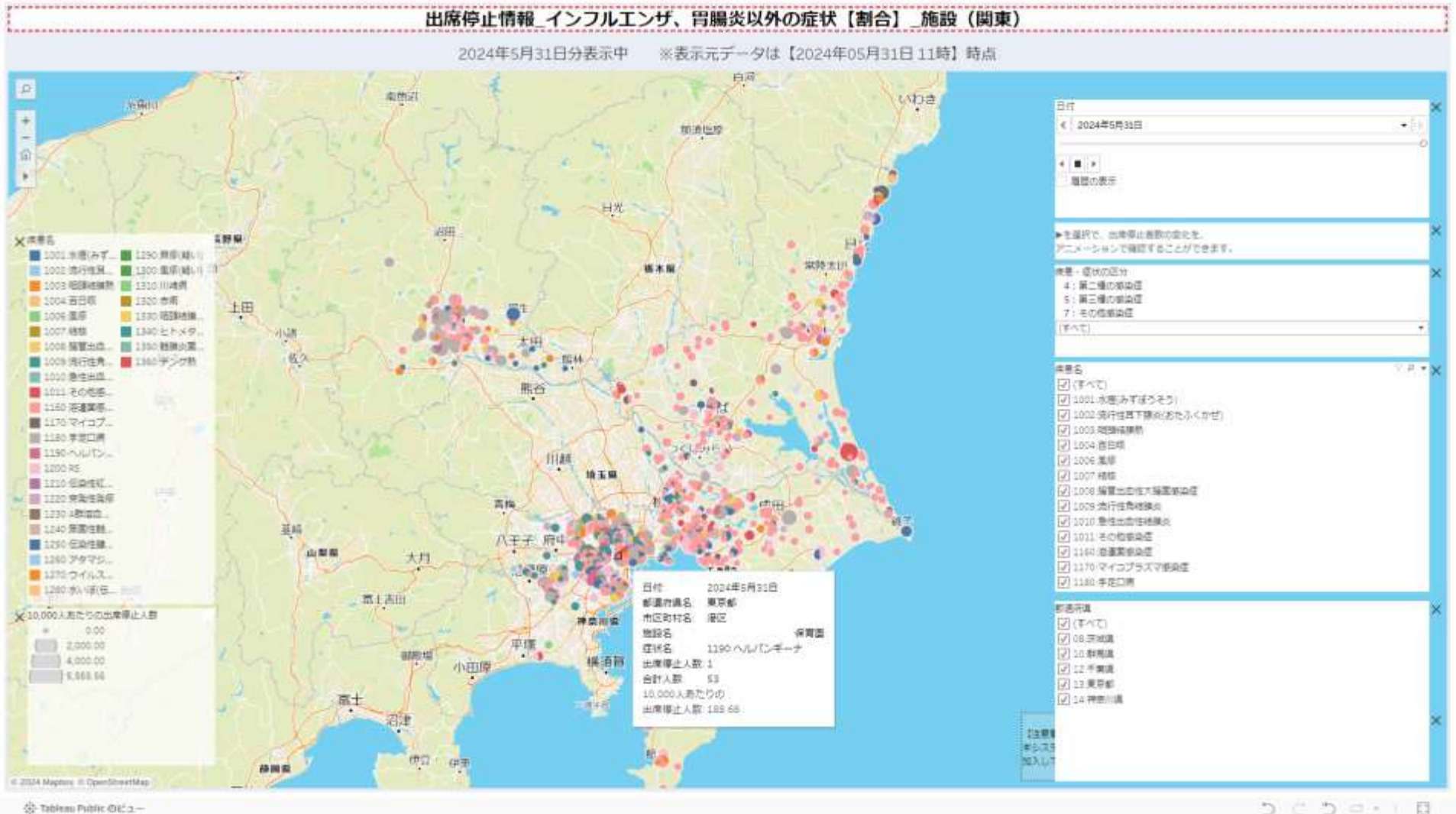
## マップビューの表示イメージ（市区町村）



## マップビューの表示イメージ（市区町村）



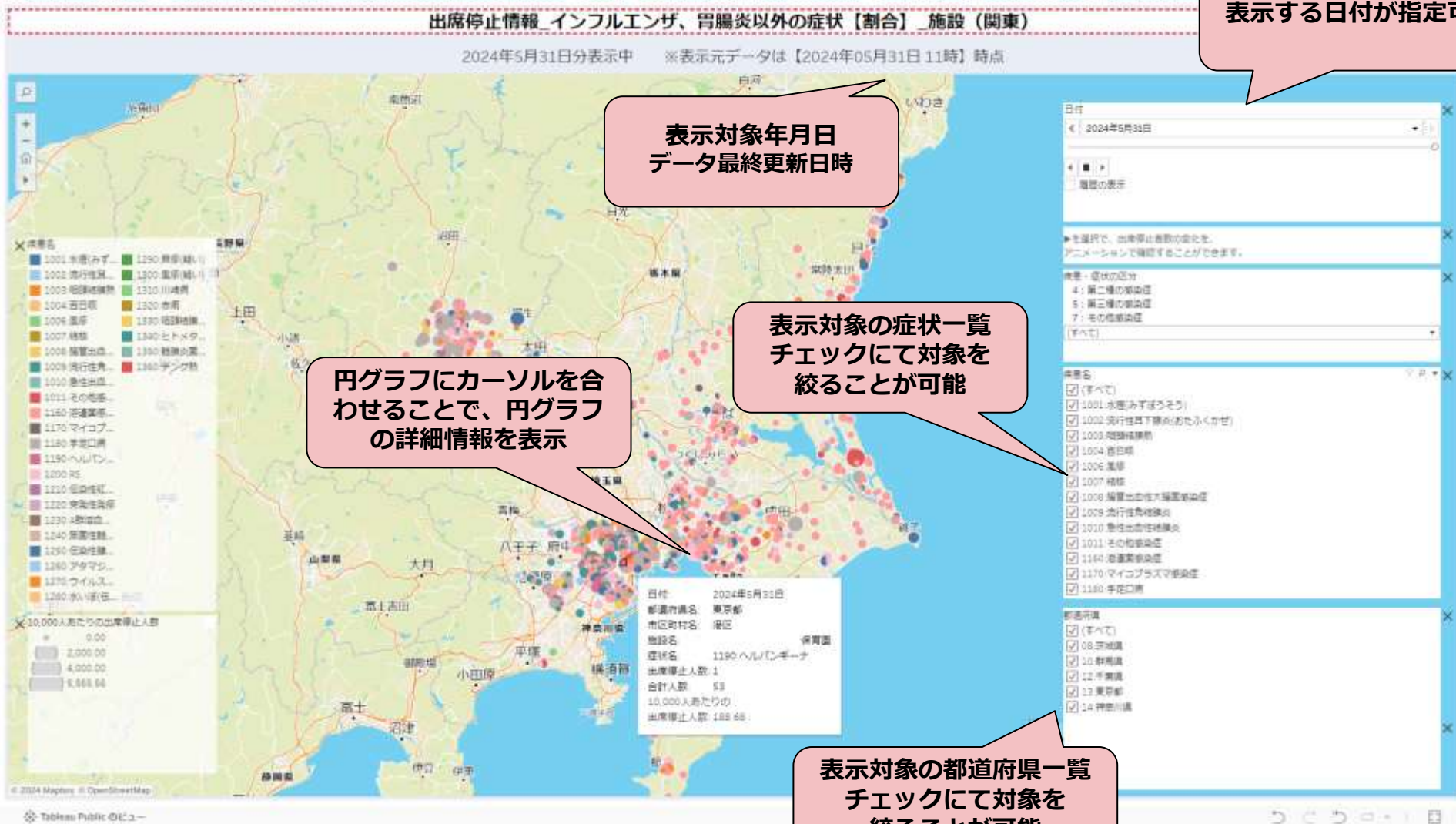
## マップビューの表示イメージ（施設）



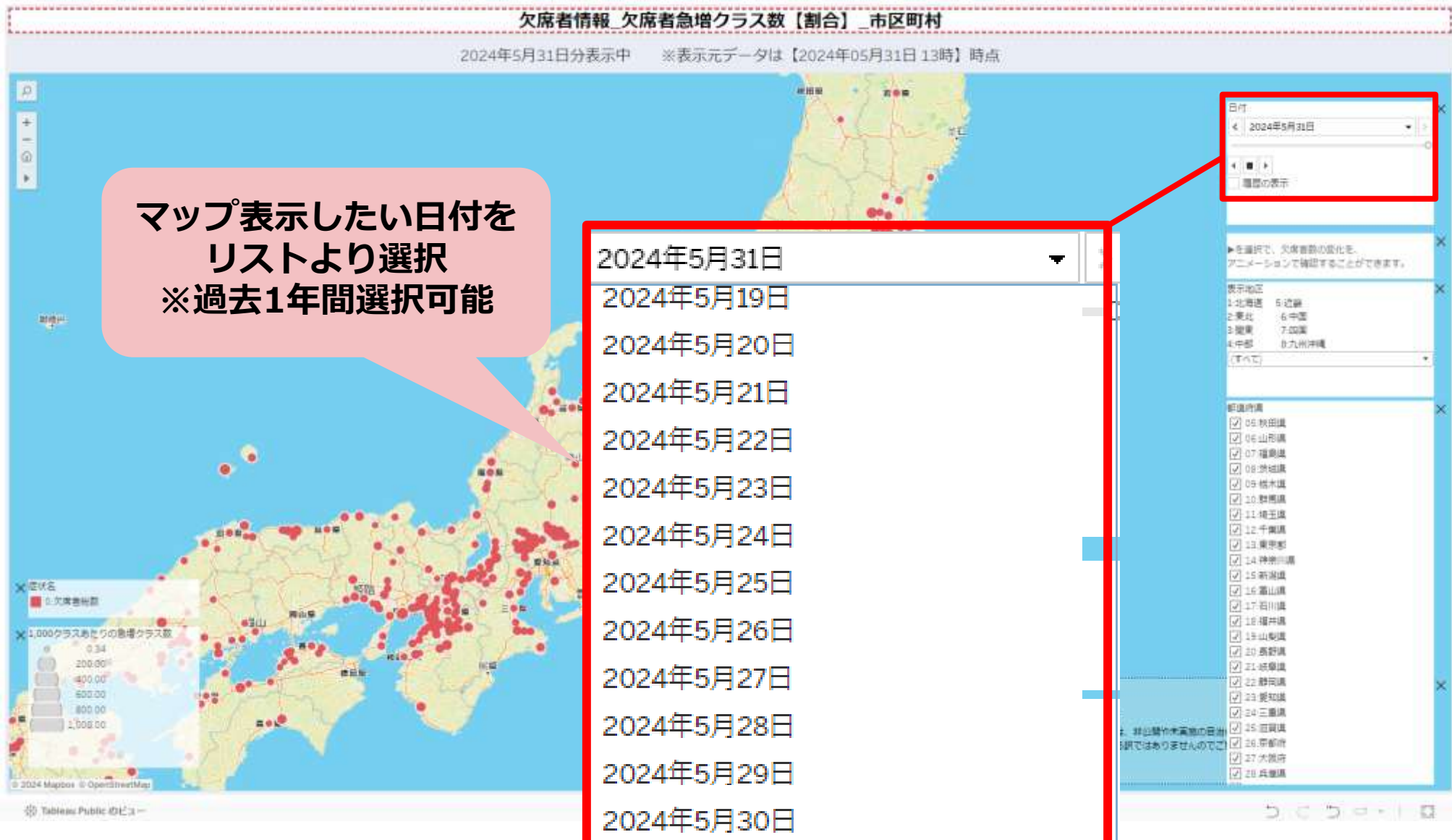


# 3-4.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_施設）

## マップビューの表示イメージ（施設）



# 3-4.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_日付）

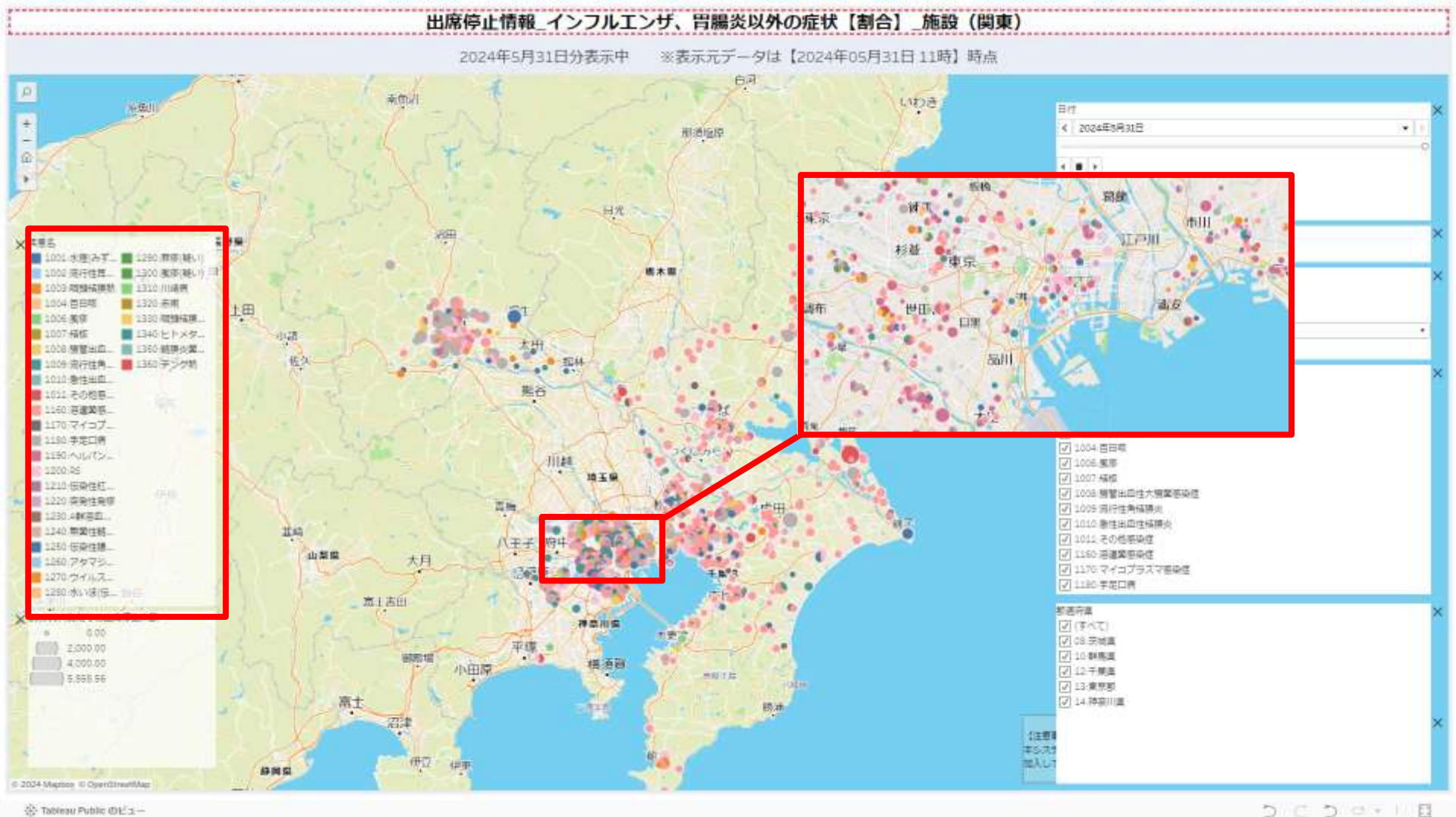


# 3-4.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_日付）



# 3-4. 感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_症状）

症状をフィルタにて絞り、特定症状の発生状況を確認する



# 3-4.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_症状）

症状をフィルタにて絞り、特定症状の発生状況を確認する

出席停止情報 インフルエンザ、胃腸炎以外の症状【割合】 施設（関東）

2024年5月31日分表示中 ※表示元データは【2024年05月31日 11時】時点

**流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）  
だけを選択（✓）する**

疾患名

- (すべて)
- 1001:水痘(みずぼうそう)
- 1002:流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
- 1003:咽頭結膜熱
- 1004:百日咳
- 1005:麻疹
- 1006:風疹
- 1008:腸管出血性大腸菌感染症
- 1009:流行性角結膜炎
- 1010:急性出血性結膜炎
- 1011:その他感染症

1260 アタマジリ  
1270 ウイルス  
1280 水い(流行)

10,000人あたりの出席停止人数

- 0.00
- 2,000.00
- 4,000.00
- 6,000.00

2024年5月31日

疾患・症状の区分

- 4: 第二種の感染症
- 5: 第三種の感染症
- 7: その他感染症
- (すべて)

疾患名

- (すべて)
- 1001:水痘(みずぼうそう)
- 1002:流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
- 1003:咽頭結膜熱
- 1004:百日咳
- 1006:風疹
- 1007:麻疹
- 1008:腸管出血性大腸菌感染症
- 1009:流行性角結膜炎
- 1010:急性出血性結膜炎
- 1011:その他感染症
- 1160:溶連菌感染症
- 1170:マイコプラズマ感染症
- 1180:羊皮口瘡

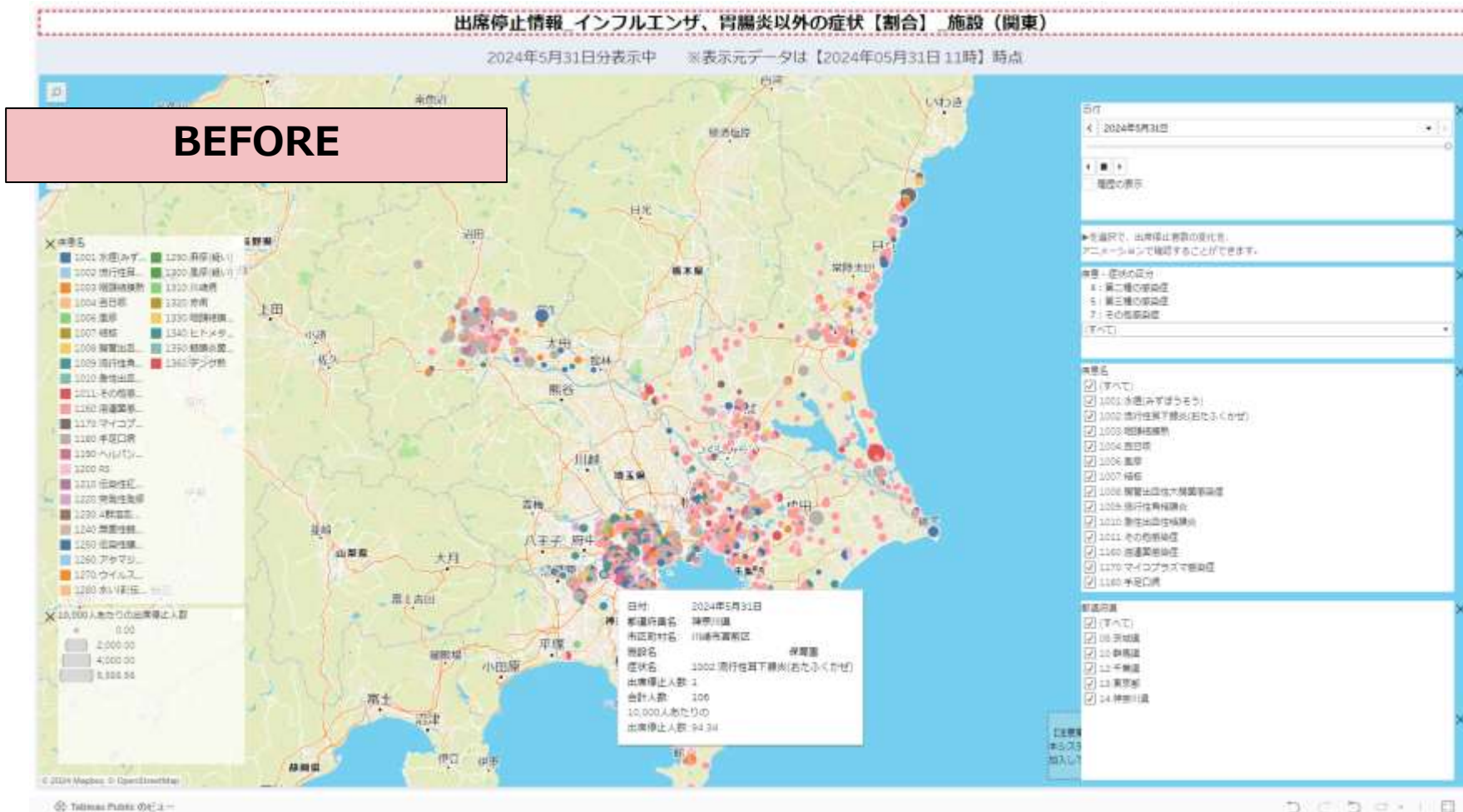
都道府県

- (すべて)
- 08 茨城県
- 10 群馬県
- 12 千葉県
- 13 東京都
- 14 神奈川県

Tableau Public のビュー

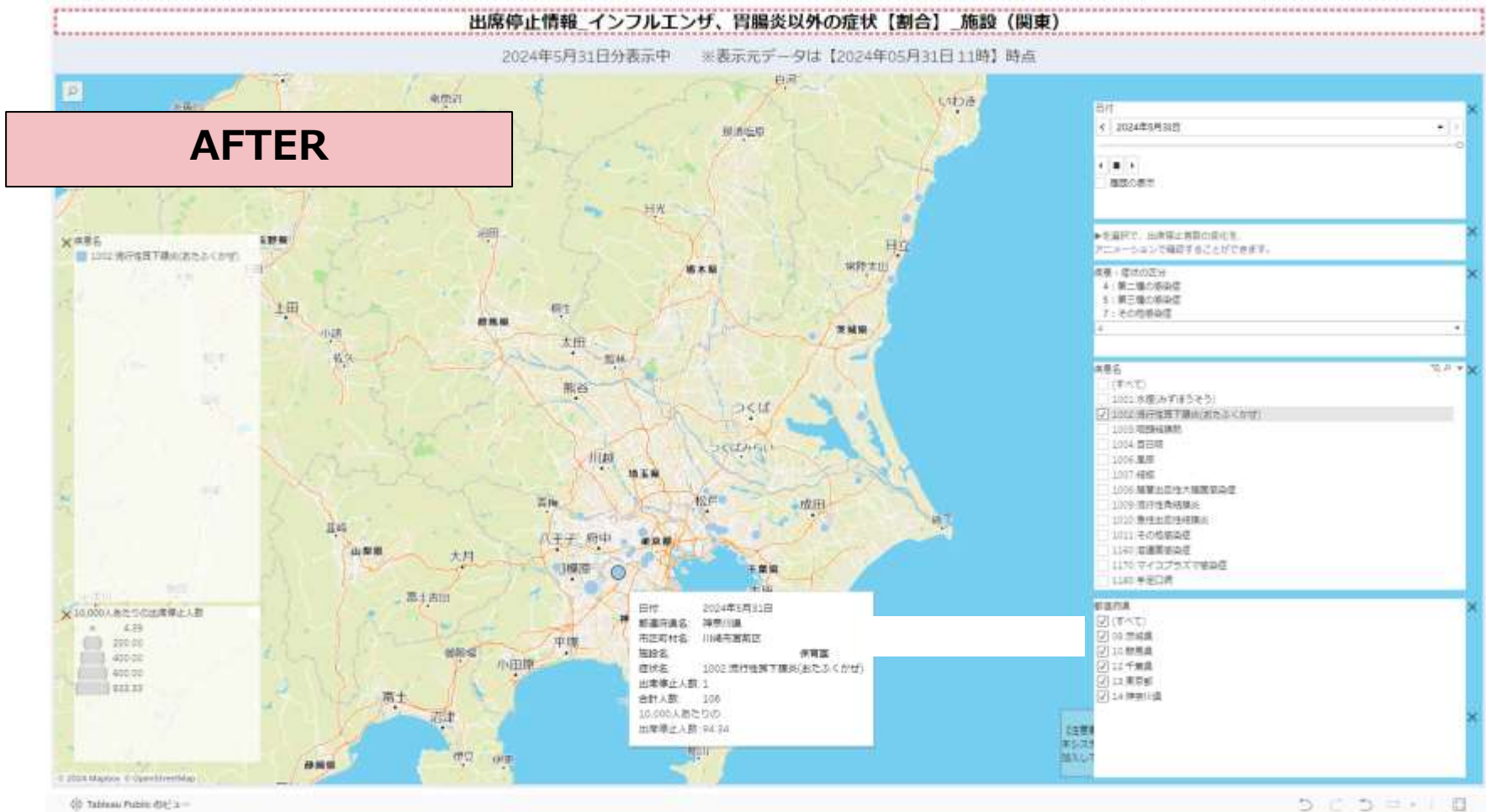
# 3-4. 感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_症状）

症状をフィルタにて絞り、特定症状の発生状況を確認する



### 3-4. 感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_症状）

症状をフィルタにて絞り、特定症状の発生状況を確認する



確認したい症状のみに絞ることで、症状別の発生状況を把握することが可能です

# 3-4.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_実数表）

地図上に表示されている円グラフをクリックする





# 3-4.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの表示イメージ\_実数表）

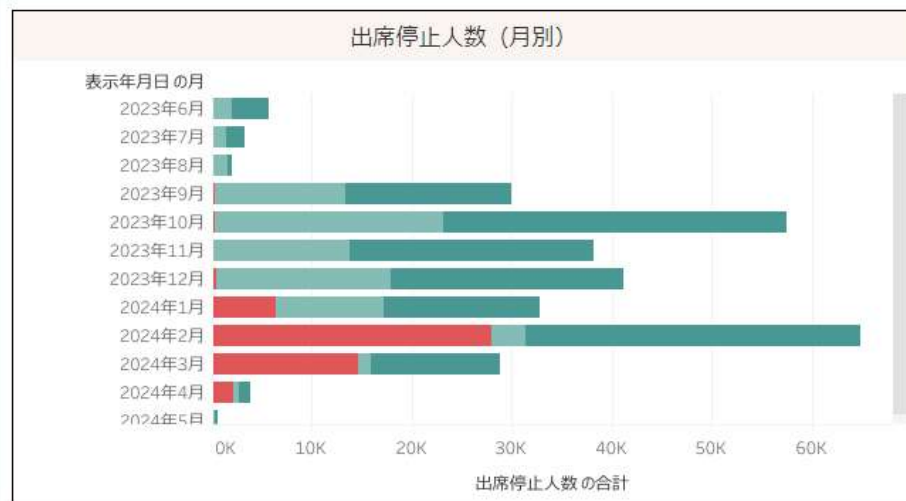
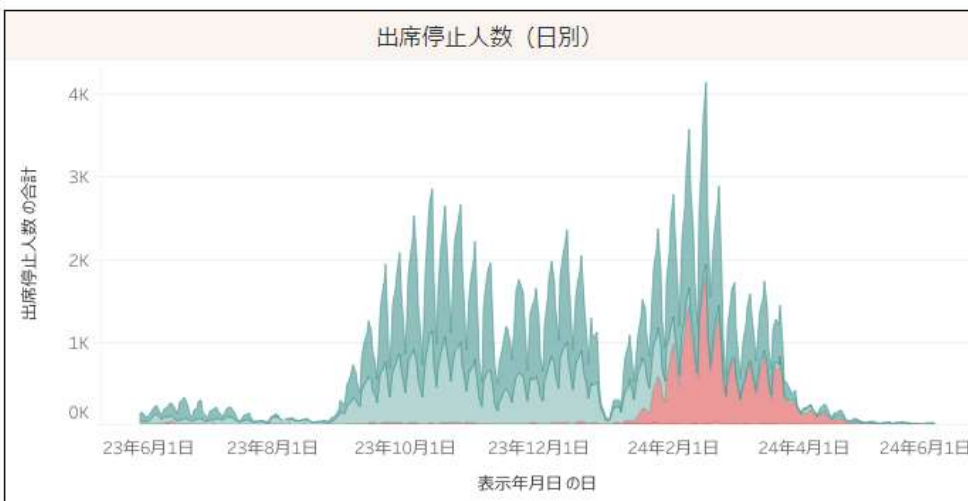
円グラフの実数表が表示されます。

すべての都道府県を一度に表示する場合、画面表示速度が低下します。  
そのため必ず表示する都道府県を以下より指定してください。

<b>都道府県</b> 13:東京都	<b>疾患・症状の区分</b> 3: インフルエンザ 4: 第二種の感染症 5: 第三種の感染症 6: 感染症胃腸炎 7: その他感染症 8: 発熱等による 9: 家族等のかぜ症状等による 10: 新型コロナウイルス感染症	<b>疾患名等</b> <input checked="" type="checkbox"/> (すべて) <input checked="" type="checkbox"/> 1099:インフルエンザ <input checked="" type="checkbox"/> 1110:インフルエンザA型 <input checked="" type="checkbox"/> 1120:インフルエンザB型 <input checked="" type="checkbox"/> 1125:インフルエンザA(H1N1)2009 <input checked="" type="checkbox"/> 1126:インフルエンザ(H7N9) <input checked="" type="checkbox"/> 1130:新型インフルエンザ <input checked="" type="checkbox"/> 1140:インフルエンザ(感染の疑い)
<b>表示地区</b> 1:北海道 5:近畿 2:東北 6:中国 3:関東 7:四国 4:中部 8:九州沖縄 (すべて)	<b>疾患名等</b> <input checked="" type="checkbox"/> 1099:インフルエンザ <input checked="" type="checkbox"/> 1110:インフルエンザA型 <input checked="" type="checkbox"/> 1120:インフルエンザB型 <input checked="" type="checkbox"/> 1125:インフルエンザA(H1N1)2009 <input checked="" type="checkbox"/> 1126:インフルエンザ(H7N9) <input checked="" type="checkbox"/> 1130:新型インフルエンザ	
<b>表示年月</b> (すべて)	<b>表示年月日</b> (すべて)	

出席停止人数(実数) ※表示データは【2024年05月31日 11時】時点

都道府県名	表示年月日の日	疾患名等	出席停止人数の合計	10000人あたりの出席停止人数	出席停止クラスの数
13:東京都	2023年6月1日	1099:インフルエンザ	101	0	83
		1110:インフルエンザA型	29	0	26
		1120:インフルエンザB型	3	0	3
	2023年6月2日	1099:インフルエンザ	98	0	81
		1110:インフルエンザA型	33	0	30
		1120:インフルエンザB型	5	0	5
	2023年6月3日	1099:インフルエンザ	66	0	57
		1110:インフルエンザA型	28	0	25
		1120:インフルエンザB型	3	0	3
	2023年6月4日	1099:インフルエンザ	63	0	50
		1110:インフルエンザA型	27	0	25
		1120:インフルエンザB型	3	0	3
2023年6月5日	1099:インフルエンザ	71	0	52	
	1110:インフルエンザA型	30	0	26	



# 3-4.感染症情報システムデータの活用例（マップビューの種類）

現在マップビューでは、下記に記載のファイルが「日本学校保健会ポータルサイト」にて確認いただけます。（発熱、家族等のかぜ症状等については2023年6月4日までの情報）

The screenshot shows the '学校保健' (School Health) portal with several data tables. The tables are organized by region: 北海道 (Hokkaido), 山形県 (Yamagata Prefecture), インフルエンザ (Influenza), 感染症胃腸炎 (Infectious Gastroenteritis), 感染症胃腸炎以外 (Other Infectious Gastroenteritis), 北海道 (Hokkaido), 北海道 (Hokkaido), and 補足情報 (Supplementary Information). Each table has columns for '報告単位' (Reporting Unit), '地域別数、割合' (Regional Count, Ratio), and '集計数、クラス別' (Aggregated Count, Class-wise). The tables provide detailed data for various school types and administrative levels, including links to specific reports.

## 【欠席情報】

- ・ 欠席者急増クラス数【割合】  
（都道府県別・市区町村別）
- ・ 欠席者急増クラス数-症状別【割合】  
（都道府県別・市区町村別）

## 【出席停止・学級閉鎖情報】

- ・ 新型コロナウイルス【割合】-都道府県別  
（都道府県別・市区町村別）
- ・ インフルエンザ【割合】  
（都道府県別・市区町村別・学校（施設）別）
- ・ 感染症胃腸炎【割合】  
（都道府県別・市区町村別・学校（施設）別）
- ・ インフルエンザ、感染症胃腸炎以外【割合】  
※施設別は8区分  
（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄）

## 【補足情報】

- ・ 感染症システムの数、クラス集計情報等

## 【実績表】

- ・ 欠席・出席停止・学級閉鎖（日付指定・自治体指定）  
（都道府県別・市区町村別）

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

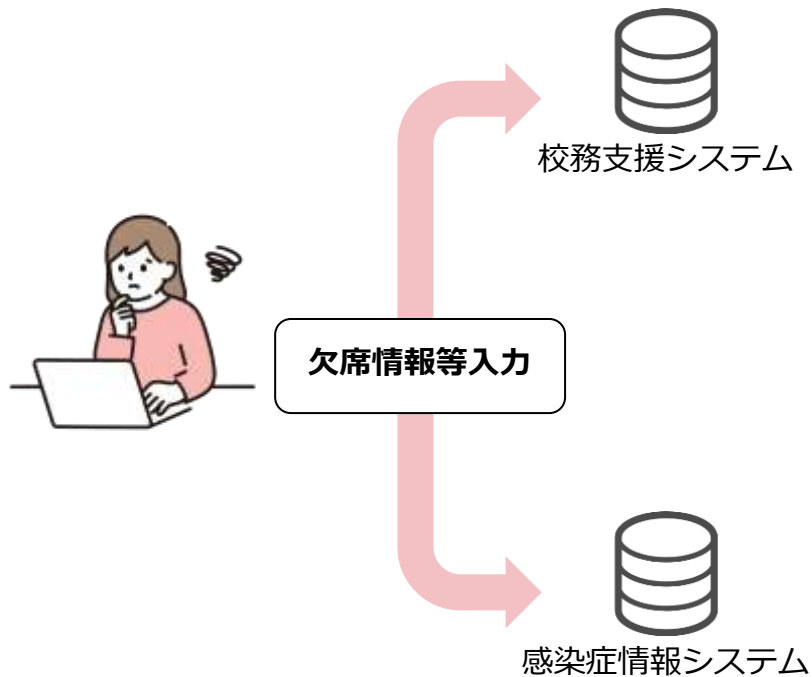
## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

## 4.校務支援システムと感染症情報システム

### 【欠席情報の入力】

校務支援システム、感染症情報システムの両システムを導入している施設の担当者様は日々の欠席情報等をそれぞれに入力する必要があります。同一情報の二重入力により、日次入力作業が煩雑になることやデータの整合性が保たれないなどの課題が発生します。



- 作業時間増加
- 入力作業が煩雑
- 入力ミスによるデータ不整合
- データ修正作業の複雑化

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
- 5. 連携事業の背景と目的**

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

## 5.連携事業の背景と目的

### 【背景】

感染症情報システムの利用によって、学校や教育委員会が新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の全国の発生状況を把握することができ、まん延防止の取り組みを行うことで、結果的に子どもの学習機会の損失を防ぐことに繋がっています。一方で、学校現場は、校務支援システムにも感染症による欠席・出席停止等の情報を入力しているため、感染症情報システムと校務支援システムに同じ情報を入力しているという現状があります。

### 【目的】

感染症情報システムと校務支援システムを繋ぐ連携サーバを構築することで、出欠情報の二重入力を解消させ、入力の負担を減らし、業務効率化を進めるとともに、感染症情報システムの更なる拡充を図り、感染症のまん延防止と子どもの学習機会損失を防ぐことを目的とします。

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

- 6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー**
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

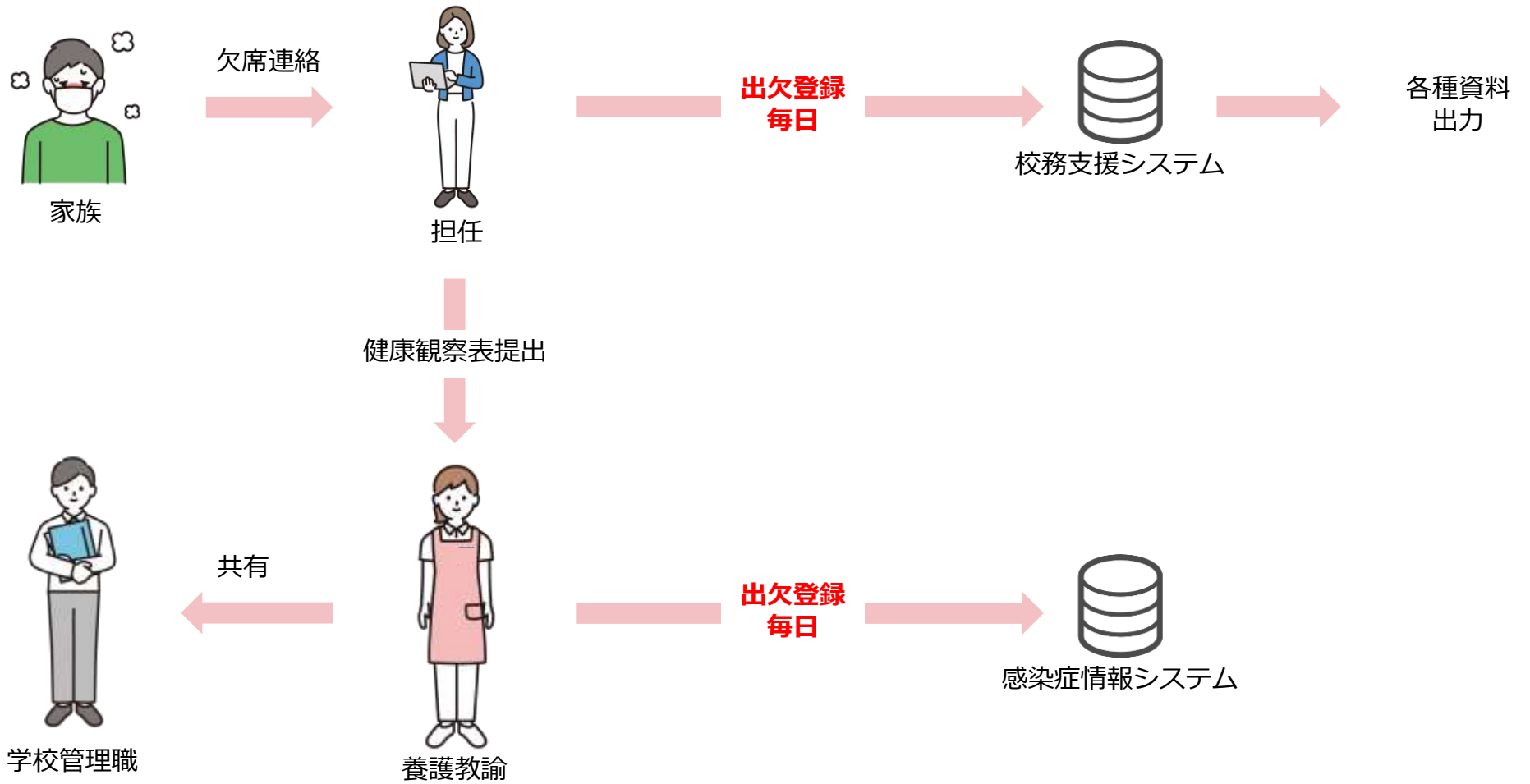
## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

## 6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー





## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
- 7. 連携未実施学校における課題**
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

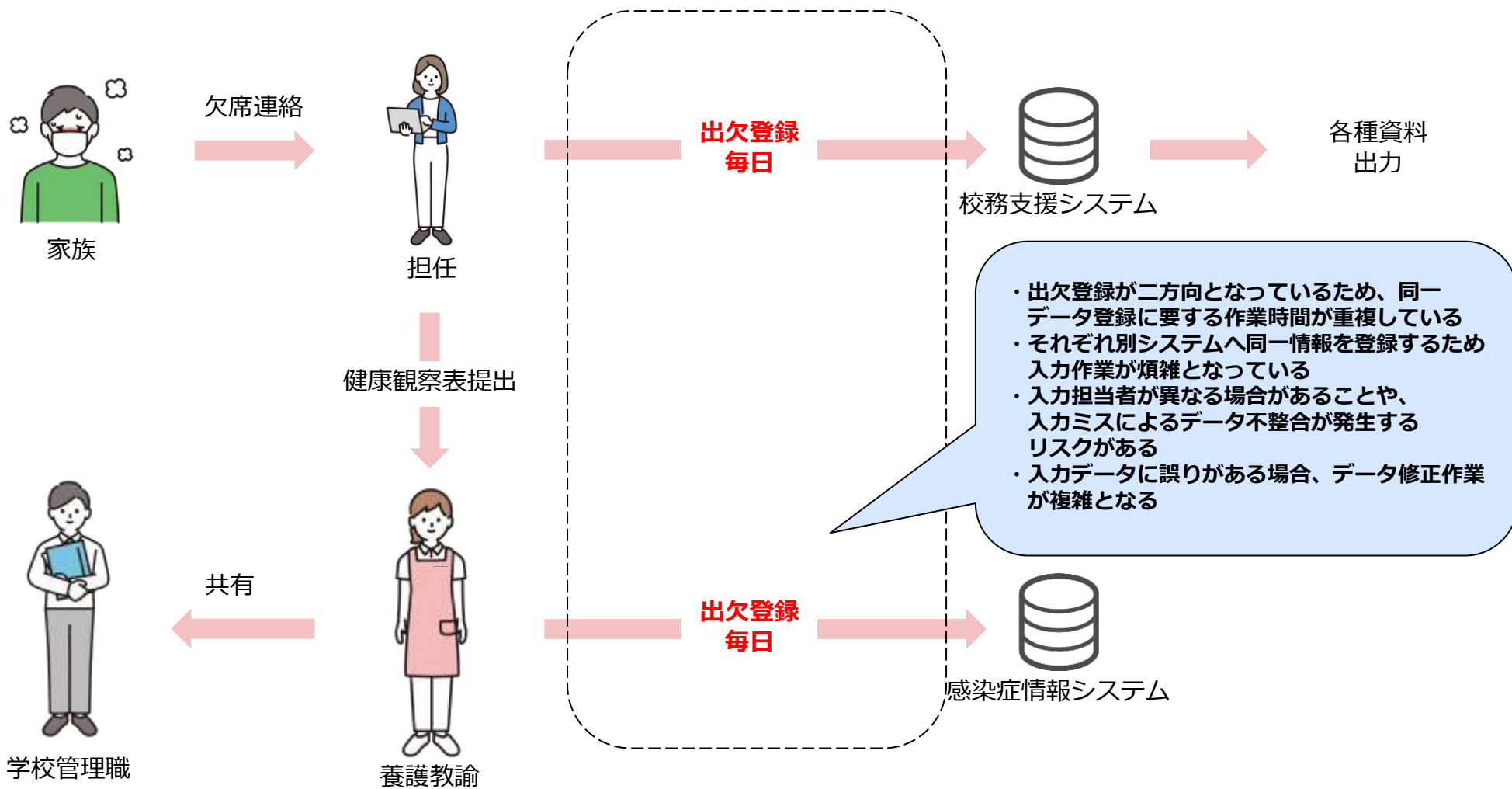
## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

# 7. 連携未実施学校における課題



## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
- 8. 連携導入後の運用フロー**
9. 連携導入による業務効率化事例

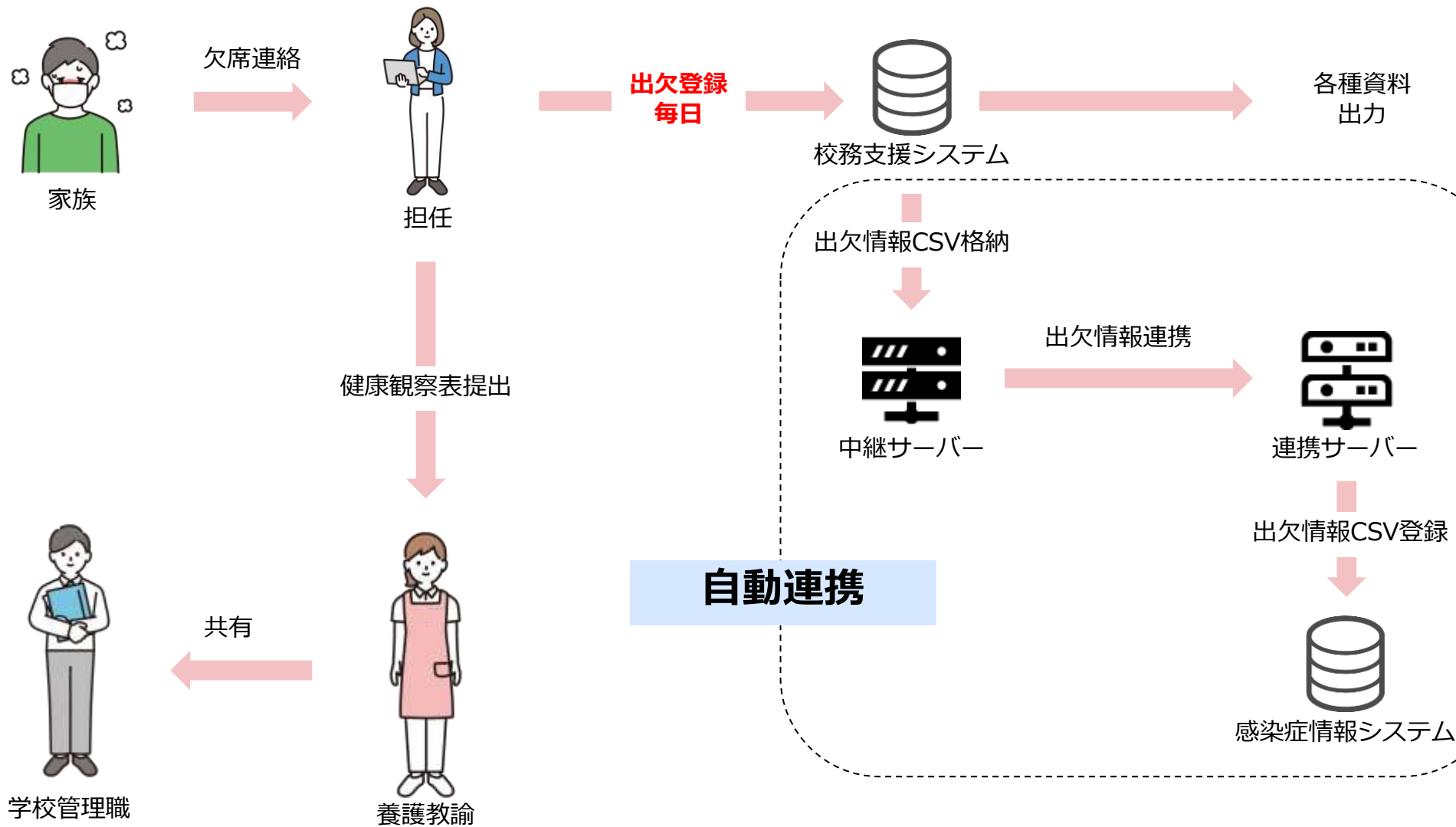
## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

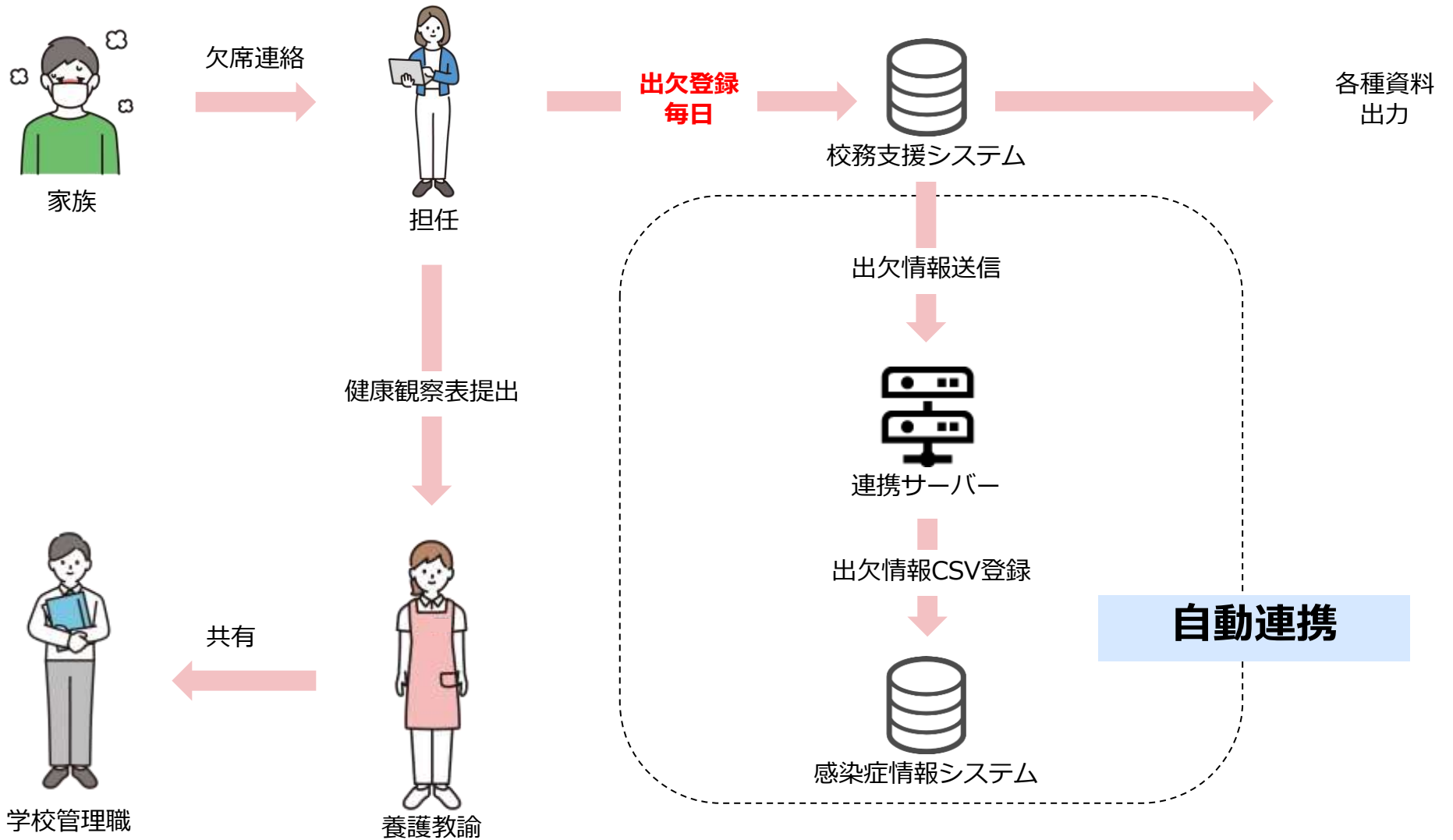
## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

## 8.連携導入後の運用フロー（オンプレ）



## 8.連携導入後の運用フロー（クラウド）



## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

### 【連携導入後の効果】

#### ケース1：団体A

- ・校務支援システムへの入力のみとなったため、健康観察結果を集計し**感染症情報システムへ入力する事務が不要**となった
- ・校務支援システムから連携されたデータを感染症情報システムにて確認することが出来るため、**ホームページに入力する事務が不要**となった
- ・感染症情報システムへの**日々の入力が不要**となった
- ・感染症情報システムへ情報を連携することで出席停止の報告とみなされるため、**出席停止報告が不要**となった

### 【連携導入後の効果】

#### ケース2：団体B

- ・校務支援システムと感染症情報システムの両方に入力していた  
⇒校務支援システムのみでの入力となったため、**省力化**された



### 【連携導入後の効果】

#### ケース3：団体C

- ・毎日午前11:00までに養護教諭が、校内全クラスの出欠情報の取りまとめを行いこの情報に基づき感染症情報システムへ直接入力を行う

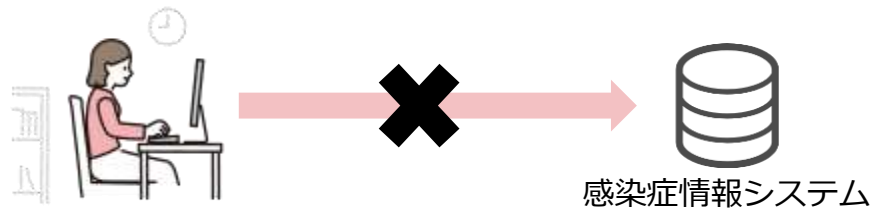
⇒「校務支援システムからの関係稼働」を行った学校においては、校務支援システムと感染症情報システムへ直接入力・校内全クラスの出欠情報の取りまとめが解消され、**特に養護教諭の業務削減につながり働き方改革に寄与することとなった。**

また連携実施にあたり、職員室に在室している教職員で分担して出席簿を日次記録するなど本連携に伴うフロー見直しが進められ、**月末等の業務集中の分散化につながる取り組みがされた。**

## 9-2.連携導入による業務効率化事例（概算）

### 【連携導入による効果】

感染症情報システムに係る実務は、1校当たり1日平均 10~20分程度かかっている  
(出欠席情報の取り纏めからシステム入力及び確認までで1時間程度かかる場合もある)



学校の登校日が年間200日とした場合、

1校当たり :  $200日 \times 20分 = \text{約}66\text{時間/年}$

市内全校が連携対象となる場合（例：公立小中学校が60校の場合）

$66時間 \times 60校 = \text{3,960時間/年}$ （495人日） の削減となる

感染症情報システムの導入と本連携事業の導入を同時に行うことで、  
事務作業の負担を増やすことなく、感染症情報システムを使用することが可能となります

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

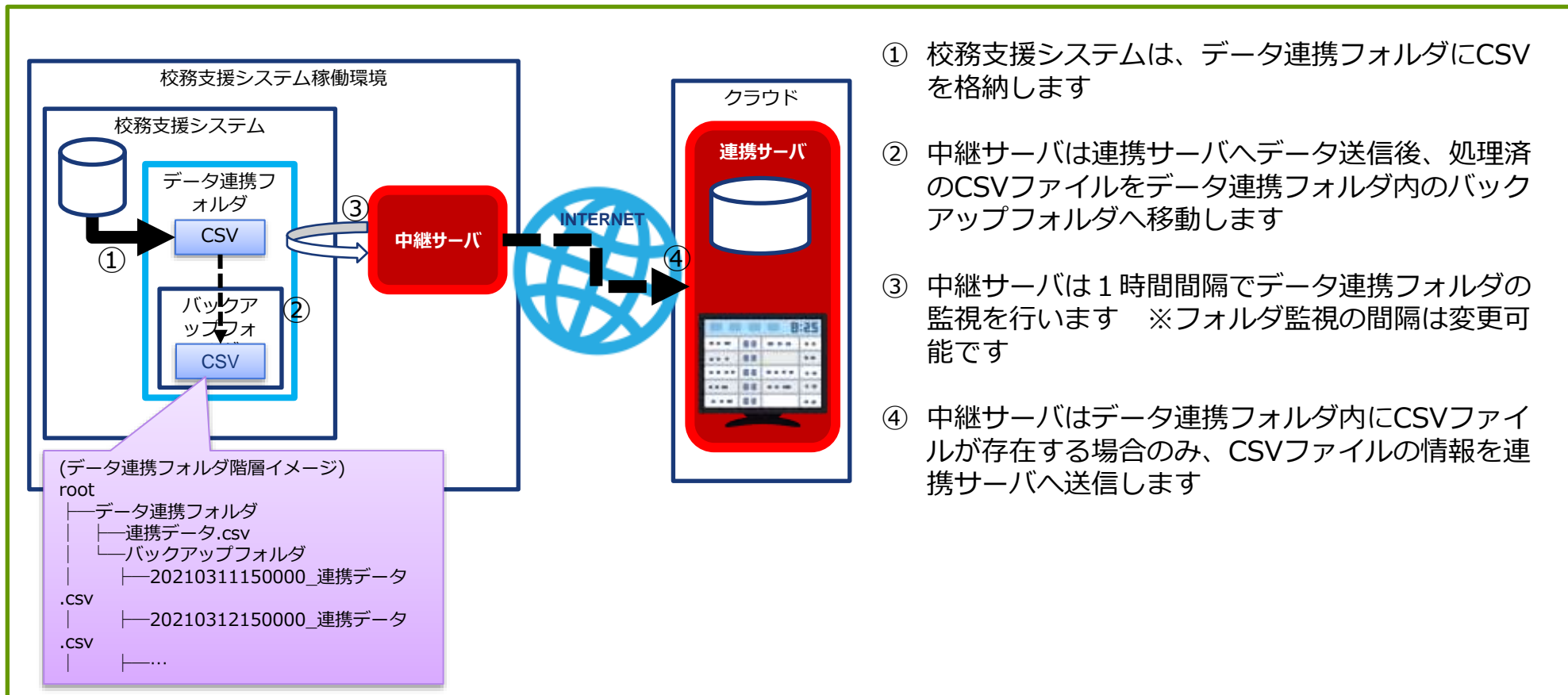
- 10. 連携フロー**
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

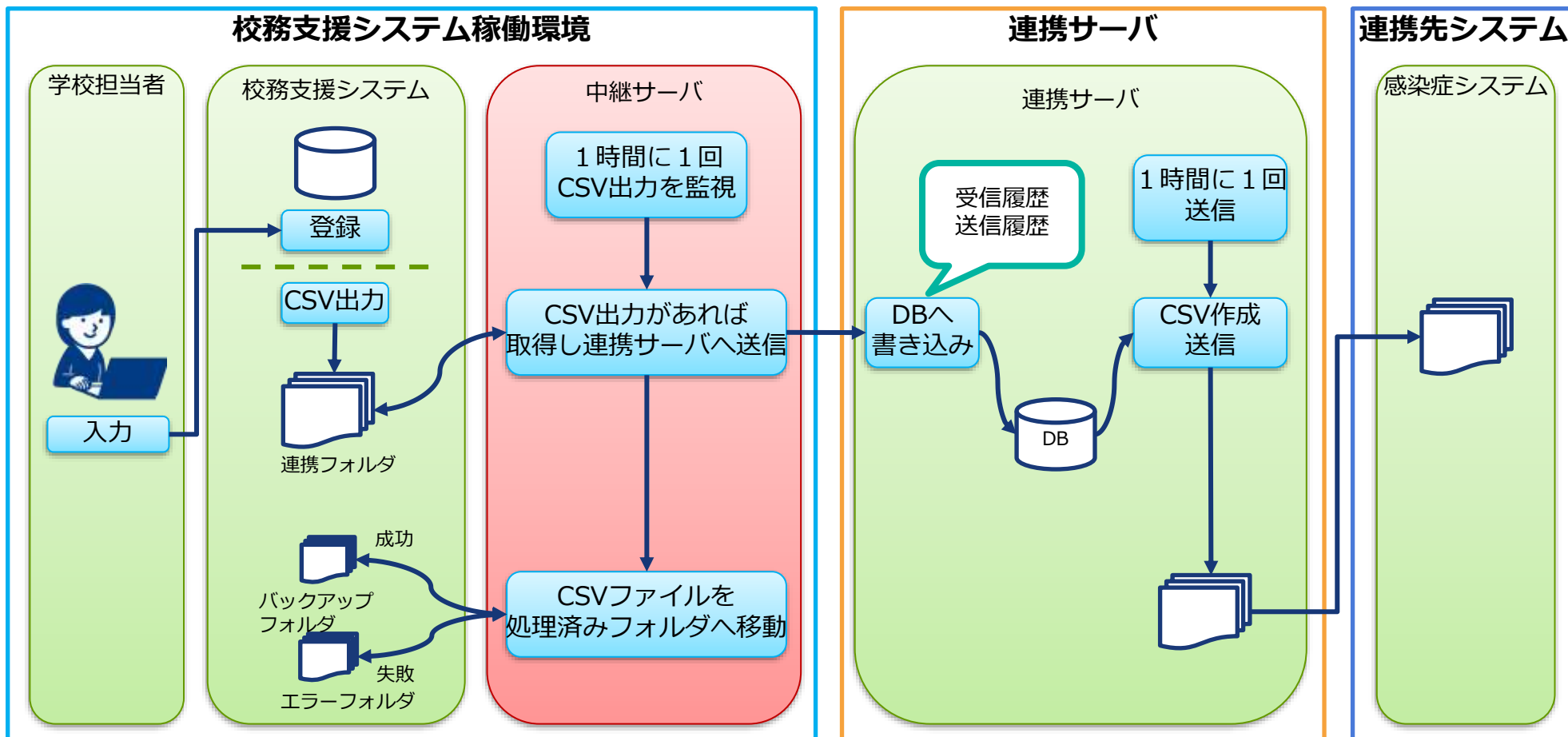
# 10-1.連携フロー

連携フローは以下の通りです。



- ① 校務支援システムは、データ連携フォルダにCSVを格納します
- ② 中継サーバは連携サーバへデータ送信後、処理済のCSVファイルをデータ連携フォルダ内のバックアップフォルダへ移動します
- ③ 中継サーバは1時間間隔でデータ連携フォルダの監視を行います ※フォルダ監視の間隔は変更可能です
- ④ 中継サーバはデータ連携フォルダ内にCSVファイルが存在する場合のみ、CSVファイルの情報を連携サーバへ送信します

### ■ 連携フロー詳細（中継サーバ導入時）



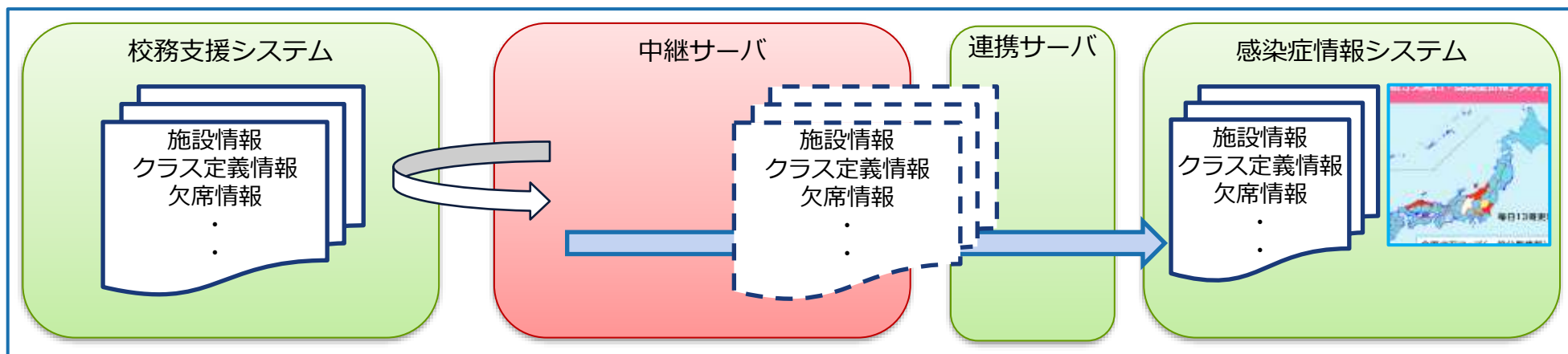
※CSVファイル取得は、中継サーバから校務支援システムへのアクセスとなります。

但し、セキュリティポリシー上、中継サーバから校務支援システムへのアクセス不可の場合に限り、校務支援システムから中継サーバへCSVファイルを格納いただくことも可能です。

### ■ 連携情報

校務支援システムから感染症情報システムへの連携情報は、以下の通りです。

- 施設情報
- クラス定義情報
- 欠席情報
- 出席停止届け情報（ヘッダー部）
- 出席停止届け情報（明細部）
- 閉鎖情報



※なお、連携対象となる情報に個人情報含まれません。

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
- 11. 連携について**
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

### 【県内の各自治体で導入している校務支援システムが統一されていない場合】

- ・ 県内の各自治体で異なる校務支援システムが導入されている場合でも連携事業を実施することは可能です。

### 【連携事業に対応済みの校務支援システムベンダ様】

- ・ 株式会社EDUCOM 様
- ・ スズキ教育ソフト株式会社 様
- ・ 株式会社システム ディ 様
- ・ 株式会社文溪堂 様
- ・ 株式会社内田洋行 様
- ・ エスエイティーティー株式会社 様
- ・ ウィンバード株式会社 様
- ・ 株式会社システムリサーチ 様

⇒お使いの校務支援システムのバージョンにより、アップデート費用が必要となる可能性もありますので、導入ご検討の際は、校務支援システムベンダ様への確認をお願いいたします。

### 【上記以外の校務支援システムベンダ様について】

- ・ 連携に関する改修が可能かどうか、担当の校務支援システムベンダ様にお問い合わせ頂くようお願い致します。



# 11.連携について

## 【各ベンダの連携方式】

校務支援システムベンダ	連携方式	稼働状況
株式会社EDUCOM 様	オンプレ	自治体にて検証・稼働済み
スズキ教育ソフト株式会社 様	オンプレ	感染症情報システムにて検証
	クラウド	開発予定
株式会社システムディ 様	オンプレ	感染症情報システムにて検証
株式会社文溪堂 様	オンプレ	自治体にて検証・稼働済み
株式会社内田洋行 様	クラウド	自治体にて検証・稼働済み
エスエイティーティー株式会社 様	オンプレ	感染症情報システムにて検証
ウィンバード株式会社 様	オンプレ	連携サーバにて検証
	クラウド	連携サーバにて検証
株式会社システムリサーチ 様	オンプレ	実装中
	クラウド	実装中

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
- 12. 連携費用**
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

## 12-1.連携導入に関する最終的な費用目安（オンプレ）

### ■ 連携稼働までの費用目安

- 校務支援システムへの連携機能実装、連携NW設定、中継サーバ導入等、連携を稼働させるために必要となる費用の目安

内容		数量	単価	金額
導入費用				
	アプライアンス製品	1台	1,000,000	1,000,000
	導入費用	1式	500,000	500,000
	ネットワーク設定 ※1	1式	2,000,000	2,000,000
	校務支援システムアップデート	1式	※2	※2
	小計			3,500,000 + @

※1 記載の金額は目安となります。実際の費用はネットワークベンダ様へお問い合わせください。

※2 導入されている校務支援システム、及び校務支援システムのバージョンにより連携機能の実装に係る費用が異なるため、校務支援システムベンダ様へお問い合わせください。

※3 金額は税抜き表示となります。

## 12-1.連携導入に関する最終的な費用目安（オンプレ\_仮想マシン）

### ■ 連携稼働までの費用目安

- 物理中継サーバではなく、仮想サーバをネットワークベンダ様にてご用意いただき、払い出された仮想サーバ上に連携アプリケーションを開発することも可能です。

内容	数量	単価	金額
導入費用			
中継サーバ連携用アプリケーション開発	1台	1,500,000	1,500,000
ネットワーク設定 ※1	1式	2,000,000	2,000,000
校務支援システムアップデート	1式	※2	※2
小計			3,500,000 + @

※中継サーバ相当の仮想マシンの最低スペックは以下の通りです。

- ・ OSスペック情報

OS : Debian9.2

CPU : 1

メモリ : 3G

ディスク容量 : 30GB

## 12-1. 連携費用（オンプレ）

### ■ 連携稼働後の費用目安

#### ● 中継サーバ保守に伴う費用（月額）

内容	数量	単価	金額
運用保守費用			
中継サーバ保守費用	1ヶ月	20,000	20,000

※上記のほか既存ネットワークへの設定変更に伴い、現在のネットワークに関する保守費用が増額となる可能性があります。

詳しくはネットワークベンダ様へお問い合わせください。

## 12-2.連携導入に関する最終的な費用目安（クラウド）

### ■ 連携稼働までの費用目安

- 校務支援システムへの連携機能実装、連携NW設定、連携を稼働させるために必要となる費用の目安

内容		数量	単価	金額
導入費用				
	連携サーバー設定作業費用	1式	500,000	500,000
	ネットワーク設定 ※1	1式	2,000,000	2,000,000
	校務支援システムアップデート	1式	※2	※2
	小計			2,500,000 + @

※1 記載の金額は目安となります。実際の費用はネットワークベンダ様へお問い合わせください。

※2 導入されている校務支援システム、及び校務支援システムのバージョンにより連携機能の実装に係る費用が異なるため、校務支援システムベンダ様へお問い合わせください。

※3 金額は税抜き表示となります。

## 12-3.連携導入に関する費用について（都道府県による共同利用の場合）

### ■ 都道府県による**共同利用の統合型校務支援システム**の連携費用

都道府県による**共同利用の統合型校務支援システム**から連携導入をする場合、発生する費用は1システム分の費用のみとなります。

**共同利用の統合型校務支援システム**で、**複数の自治体様のデータが管理されていたとしても連携費用は1システム分（共同利用の統合型校務支援システムとして1つ）**となります。

令和5年度までの実績では、2つの県にて県主体の統合型校務支援システムからのデータ連携を実現しており、その際の連携導入費、ランニングコストともに1システム分（県単位）となっております。

そのため各団体様が個別に連携導入するよりも、**連携導入費、ランニングコストを抑えることが可能**となっております。

また共同利用により利用するネットワークも1つとなるため、**ネットワーク変更費も同様に抑えることが可能**となっております。

### ■ 連携稼働までの費用目安

これらの内容はあくまで目安であり、今年度稼働予定の団体様では連携サーバ設定作業費用のみの予算で導入を進めているケースも御座います。

導入に係る費用や、校務支援システムベンダ様及びネットワークベンダ様などどのような調整が必要となるのか窓口にて調整させていただきます。

まずはお問い合わせ窓口へご一報いただきますようお願い致します。

### 【お問い合わせ窓口】

株式会社エスイーシー 東京システムセンター お問い合わせ窓口  
system@hokenkai.or.jp

※上記窓口より、日本学校保健会へ情報共有されます



## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
- 13. 連携導入までの作業期間**

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

# 13-1.連携導入までの作業期間（オンプレ）

## ■ 作業期間

中継サーバ導入作業を含め、作業期間3か月程度で、連携開始が可能です。

作業内容	N月	N+1ヶ月	N+2ヶ月	N+3ヶ月
ネットワーク調整・導入作業				
テスト				
本稼働				

### 【作業内容詳細】

#### ★ネットワーク調整・導入作業

⇒中継サーバのIPアドレスや、ファイル共有方法等の調整。  
中継サーバの現地導入作業。

#### ★テスト

⇒校務支援システムよりCSVファイルを出力し、  
中継サーバ経由にて感染症情報システムにて取込確認を実施。

#### ★本稼働

⇒学校様にて本運用(連携)を開始。

## 13-2.連携導入までの作業期間（クラウド）

### ■ 作業期間

作業期間 1 か月程度で、連携開始が可能です。

作業内容	N月	N+1ヶ月	N+2ヶ月	N+3ヶ月
テスト				
本稼働				

#### 【作業内容詳細】

##### ★テスト

⇒校務支援システムより出欠情報を連携サーバに送信、  
感染症情報システムにて取込確認を実施。

##### ★本稼働

⇒学校様にて本運用(連携)を開始。

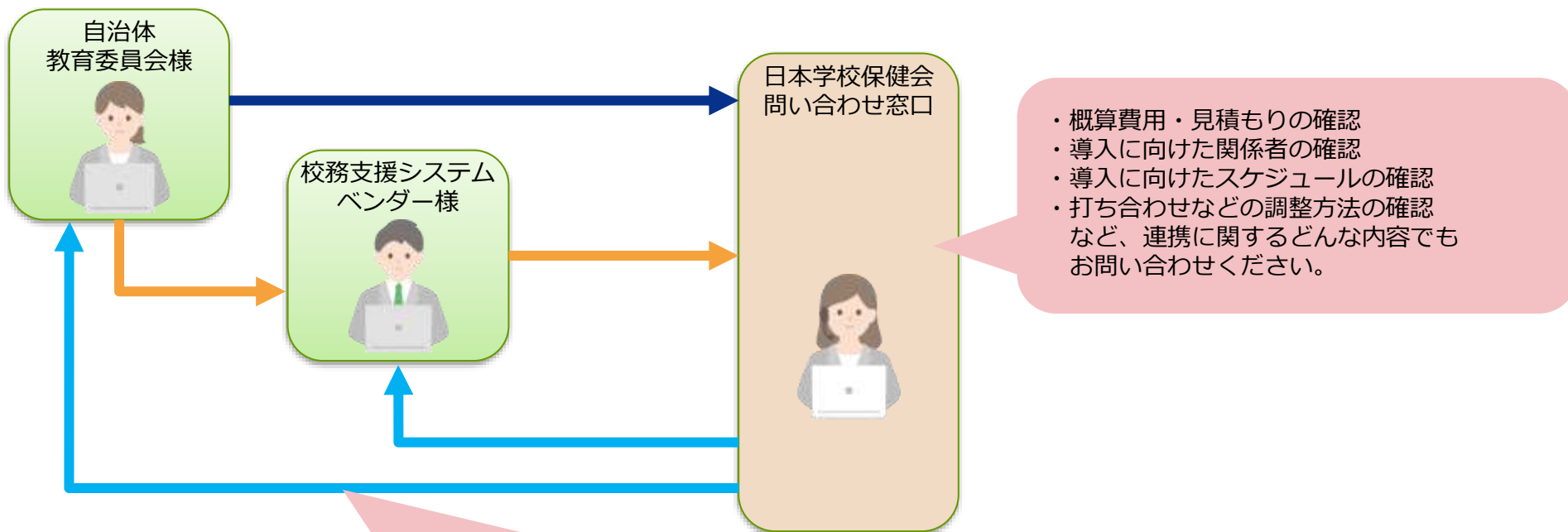
## 13-3.導入に向けたフロー

導入をご検討いただけましたら、**まずは問い合わせ窓口にご連絡**ください。

※自治体様から直接でも、校務支援システムベンダ様経由でも問い合わせ可能です。

またメールでも直接窓口にお電話いただくことも可能です。

「費用はどのくらい?」「打ち合わせとかしたいけど段取りは?」「誰と調整してすすめたらいいの?」「複数の団体で共同利用できるの?」など、連携に関する疑問点・不明点ありましたら、**それぞれの団体様の状況をヒアリングさせていただき回答**させていただきます。

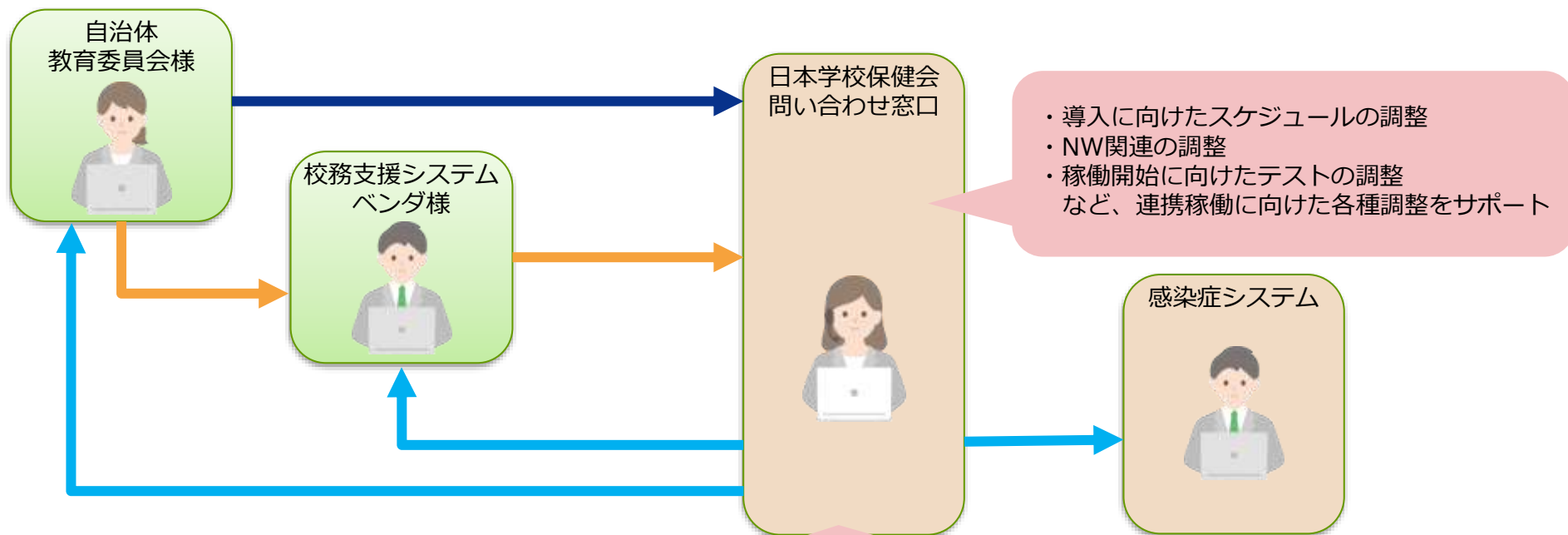


ZOOM等を利用したオンライン形式での打ち合わせにて導入に関する不明点を確認することも可能です。  
(打ち合わせ開催に関する費用は不要です)  
既に自治体様、ベンダ様、日本学校保健会、問い合わせ窓口の4者での打ち合わせ実績もございます。

## 13-4.導入に向けたフロー

導入を決定していただけたら、**問い合わせ窓口より連携稼働に向けた調整を実施させていただきます。**

「稼働に向けたスケジュールは?」「校務支援システム側との調整は?」「連携に稼働に向けた打ち合わせは?」など、連携開始までに必要な調整についても問い合わせ窓口にてサポートさせていただきます。



ZOOM等を利用したオンライン形式での打ち合わせをセッティングし連携に必要な情報を共有します。

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

- 14. 感染症情報システム及び連携事業について**
15. マップビューに関する個別利用について
16. お問い合わせ窓口について

### 【感染症情報システムの導入について】

感染症情報システムの導入によって以下のようなメリットが得られます。

- ・ 早期探知 : 感染症の流行を早期に発見することができる
- ・ 情報共有 : 教育委員会や保健所等関係機関が情報を共有できる。
- ・ 省力化 : オンライン上で書類送付ができるため、負担軽減とペーパーレス化に繋がる
- ・ データ活用 : 各種データを利用して感染症対策につなげることができる

### 【連携導入について】

連携導入によって以下のようなメリットが得られます。

- ・ システムへの二重入力を削減することにより業務効率化となる。
- ・ 多忙を極める学校現場にて入力の負担を減らし、業務効率化を進めるとともに感染症情報システムの更なる拡充を図り、感染症のまん延防止と子どもの学習機会損失を防ぐことができる。

### 【導入までのサポート】

感染症情報システムは無料でご利用いただけます。

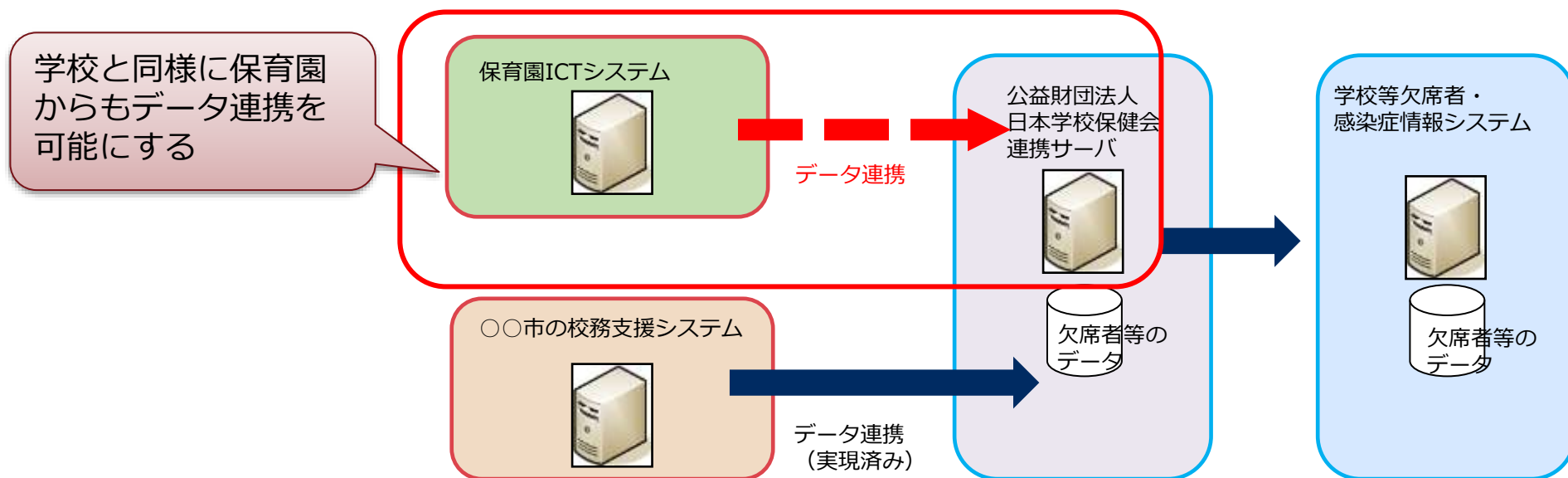
連携事業の導入を検討される場合、予算要求に必要な資料等御座いましたら、問い合わせ窓口の方にご連絡いただければ、資料提供させていただきます。

### 【保育園ICTシステムとの連携】

地域の感染症の発生状況をリアルタイムに把握するためには、学校や保育園において子供たちの欠席情報を毎日入力し、関係機関が情報を共有することで**早期の感染症対策**に役立てることができます。

本連携事業にて、すでに学校から学校等欠席者・感染症情報システムに自動でデータ連携することが可能になっております。一方、学校等欠席者・感染症情報システムを利用している保育園からのデータ連携については、まだ実現できておりません。

学校等欠席者・感染症情報システムは多くの保育園でご利用いただいておりますので、保育園からもデータ連携できる仕組みについて現在検討を進めております。





## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
- 15. マップビューに関する個別利用について**
16. お問い合わせ窓口について

## 【現在の状況】

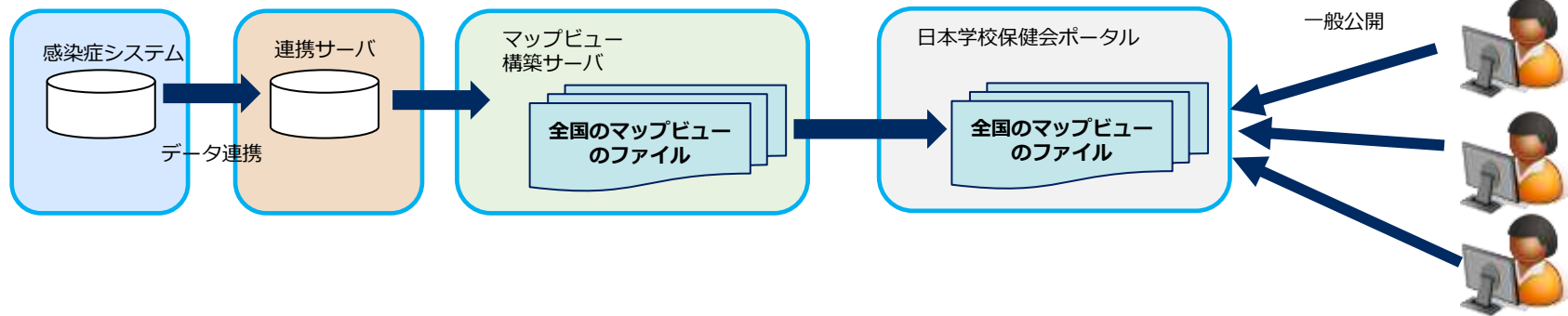
- ・現在、感染症システムにて管理されている、欠席者・出席停止・学級閉鎖に関する情報を、連携サーバに格納し**日本学校保健会ポータルサイトにてマップビューを広く一般公開**しております。
- ・日本学校保健会として公開するマップビューは全国が対象となり、取り扱っているデータ量が**全国データのため「表示速度が遅い」**であったり、「**利用者の近隣に特化した情報がすぐに確認できない**」などの状況となっております。
- ・日本学校保健会公開のマップビューは、無償で広く公開することを目的としており、**表示速度の改善や特定地区に特化した表示を用意することが困難**となっております。

## 【ご提案内容】

- ・現在、日本学校保健会の連携サーバに格納されている感染症情報システムの欠席者情報を、**各自治体様専用のマップビュー**を作成して表示することが可能です。
- ・有償とはなりますが、導入される団体様に特化したマップビューを構築することで、管轄の施設の担当者様や、自治体担当者様が最も使いやすい形でのマップビューの公開及びカスタマイズが可能となります。
- ・自治体様専用のマップビューにご興味をお持ちいただけましたら、どんなマップビューが作成可能か、概算費用としてどの程度かかるか、などお気軽にお問い合わせください。

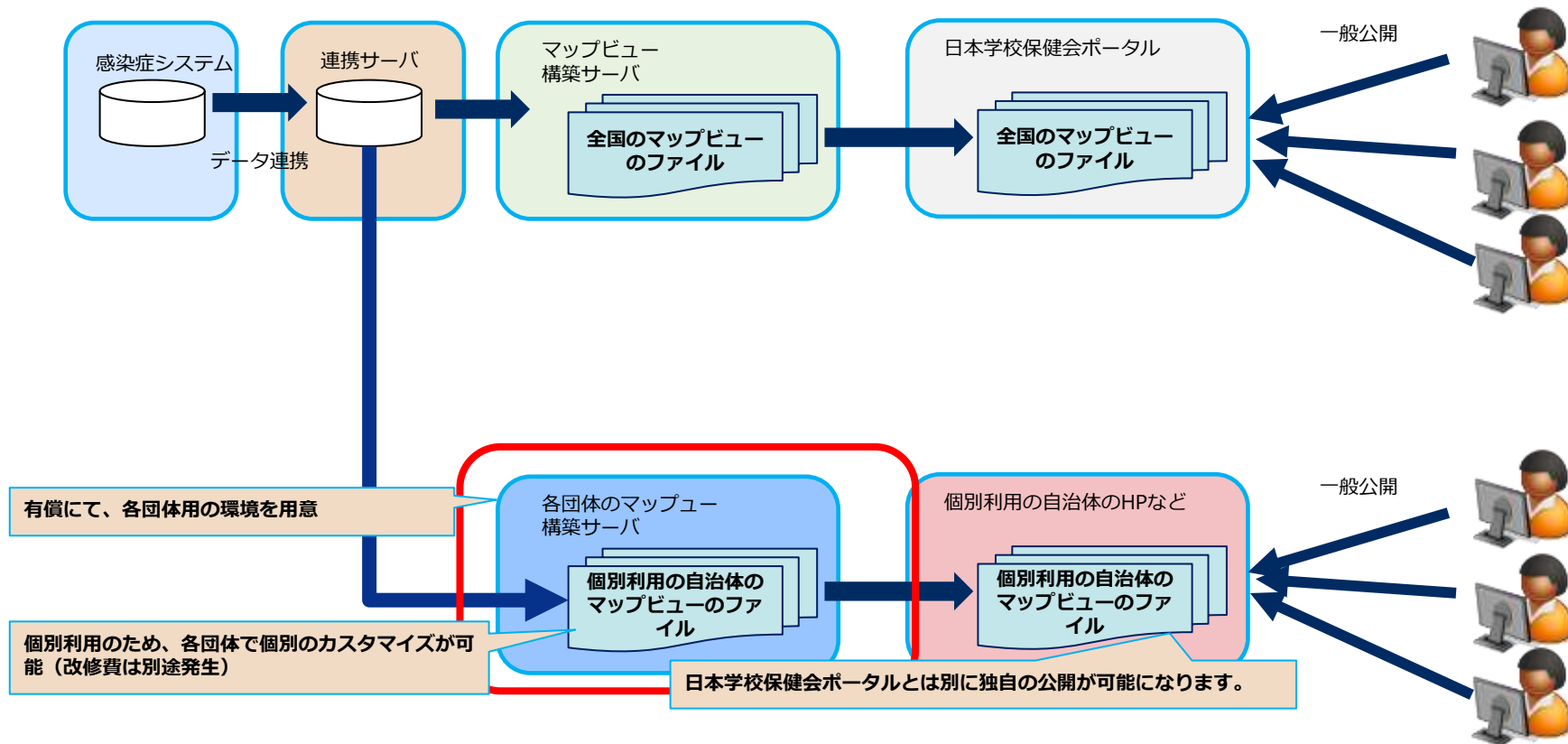
# マップビューに関する個別利用のイメージ

## 現在の構成



# マップビューに関する個別利用のイメージ

## 個別利用のイメージ



# マップビューに関する個別利用のイメージ

## 個別利用（有償利用）の表示例

無償利用の場合のマップビュー



個別利用の場合のマップビュー

一覧やグラフも連動して表示可能

個別利用で表示方法を変更した例

表示方法は個別利用することでオーダーメイド可能です。

各団体にデータを限定するため、データ表示速度が向上  
⇒ 1画面内で表示する情報を追加することも可能になります。

## 【感染症情報システムの概要と登録及び利用方法について】

1. 感染症情報システムとは
2. 感染症情報システムの登録及び利用方法
3. 感染症情報システムデータの活用例

## 【校務支援システム及び感染症情報システムの運用における課題と連携事業の目的について】

4. 校務支援システムと感染症情報システム
5. 連携事業の背景と目的

## 【連携導入前後の運用フローとその効果について】

6. 連携未実施学校の一般的な運用フロー
7. 連携未実施学校における課題
8. 連携導入後の運用フロー
9. 連携導入による業務効率化事例

## 【連携導入に関する費用と作業期間、連携の機能について】

10. 連携フロー
11. 連携について
12. 連携費用
13. 連携導入までの作業期間

## 【感染症情報システム及び連携事業について】

14. 感染症情報システム及び連携事業について
15. マップビューに関する個別利用について
- 16. お問い合わせ窓口について**

## 【お問い合わせ窓口】

株式会社エスイーシー 東京システムセンター お問い合わせ窓口  
system@hokenkai.or.jp

※上記窓口より、日本学校保健会へ情報共有されます

- ・ 本説明会に関するご質問
- ・ 感染症情報システムの新規導入申込
- ・ 日本学校保健会 連携事業に関するご質問
- ・ マップビュー構築に関するご質問 等

どんな些細な内容でも問題ありませんので、気軽にお問い合わせください。

ご清聴頂きありがとうございました。



[アンケートページ](https://www.gakkohoken.jp/20240626online_questionnaire/)

[https://www.gakkohoken.jp/20240626online\\_questionnaire/](https://www.gakkohoken.jp/20240626online_questionnaire/)

アンケートにご協力をお願いいたします。

表示してあるQRコード、もしくはお送りするメールに記載のURLよりアンケートのご記入をお願いいたします。

本日はご参加いただき有難うございました。